個人番号カード対応版券面事項表示
ソフトウェア利用マニュアル

[第 2.3 版]

[令和８年 5 月]

地方公共団体情報システム機構

変更履歴表

項番	版数	変更理由	変更内容	変更箇所	変更区分	備考
令和3年3月改版						
1	1.8	動作環境追加	動作環境に Windows 10 Pro（64bit）（バージョン 20H2）を追加	2-1 頁	追加	
2	1.8	確認日更新	Microsoft サイト URL の確認日付を更新	2-1 頁	更新	
令和4年5月改版						
3	1.9	動作環境追加	動作環境に Windows 10 Pro（64bit）（バージョン 21H1）を追加	2-1 頁	追加	
4	1.9	確認日更新	Microsoft サイト URL の確認日付を更新	2-1 頁	更新	
令和5年2月改版						
5	2.0	動作環境追加・削除	動作環境に Windows 10 Pro（64bit）（バージョン 21H2,22H2）を追加及び サポート切れのバージョンを削除	2-1 頁	追加	
6	2.0	確認日更新	Microsoft サイト URL の確認日付を更新	2-1 頁	更新	
7	2.0	修正	誤記修正	全体	更新	
令和6年3月改版						
8	2.1	動作環境追加・削除	動作環境に Windows 11 Pro（64bit）（バージョン 23H2）を追加及び サポート切れのバージョンを削除	2-1 頁	追加	
9	2.1	確認日更新	Microsoft サイト URL の確認日付を更新	2-1 頁	更新	
10	2.1	更新	IC カードリーダ／ライタの機種の更新	2-2 頁	更新	
令和7年5月改版						
11	2.2	動作環境追加	動作環境に Windows 11 Pro（64bit）（バージョン 24H2）を追加	2-1 頁	追加	
12	2.2	確認日更新	Microsoft サイト URL の確認日付を更新	2-1 頁	更新	
13	2.2	修正	誤記修正	3-2 頁、3-3 頁	更新	
令和8年5月改版						
14	2.3	追加	特定在留カード等に関する記載を追加	1-2 項	追加	

目 次

1 はじめに 1-1
1.1 本ソフトウェアの対象とするカード 1-1
1.2 留意事項 1-2
1.3 事前準備 1-2
2 導入手順 2-1
2.1 動作環境 2-1
2.2 導入準備 2-2
2.3 インストール手順 2-3
2.4 動作確認 2-8
3 操作手順 3-1
3.1 起動手順 3-1
3.2 個人番号カード 3-2
3.3 住基カードおよびICカード化運転免許証 3-9
4 アンインストール手順 4-1
5 メッセージ一覧 5-1
5.1 共通 5-1
5.2 個人番号カード 5-1
5.3 住基カードおよびICカード化運転免許証 5-10

1 はじめに

「個人番号カード対応版券面事項表示ソフトウェア」（以下、「本ソフトウェア」といいます。）は、個人番号カードと住民基本台帳カード（以下、「住基カード」といいます。）および IC カード化運転免許証に記録されている情報を読み込み、画面に表示するためのソフトウェアです。

本書は、本ソフトウェアのインストール手順と操作手順について記載したものです。

1.1 本ソフトウェアの対象とするカード

本ソフトウェアの対象とする住基カードと運転免許証について「表 1-1」および「表 1-2」に示します。なお、個人番号カードについてはすべてのカードを対象とします。

表 1-1　本ソフトウェアの対象とする住基カード

項番	カード種別		視認での判別方法		対象	用途
			顔写真有無	QR コード※		
1	住基カード	写真無しカード	無	無	×	－
2				有	○	カード種別の判定を行う
3		写真付きカード	有	無	×	－
4				有	○	券面事項等を読み出す

【凡例】○：本ソフトウェアの対象のカード、×：本ソフトウェアの対象外のカード

表 1-2　本ソフトウェアの対象とする運転免許証

項番	カード種別	視認での判別方法	対象	用途
		本籍		
1	IC カード化運転免許証	空欄	○	券面事項等を読み出す
2	運転免許証（既存）	記載有	×	－

【凡例】○：本ソフトウェアの対象のカード、×：本ソフトウェアの対象外のカード

※QR コードは(株）デンソーウェーブの登録商標です。

1.2 留意事項

本ソフトウェアを使用するにあたって、下記の事項に留意してください。

(1) 本ソフトウェアで知り得た情報は、券面事項の確認にのみ使用してください。

(2) 本ソフトウェアのインストールは、Administrator 権限のユーザーのみが実施可能です。

(3) 本ソフトウェアでは、2019 年 3 月以降に発行された IC カード化運転免許証はサポートされません。

(4) 特定在留カード及び特定特別永住者証明書の場合はカード券面事項情報と表示された券面事項情報に相違がある場合があります。

1.3 事前準備

本ソフトウェアのインストール作業を開始するにあたって、「表 1-3」の物件が準備されていることを確認します。

表 1-3　準備物

項番	項目	用途	数
1	「個人番号カード対応版券面事項表示ソフトウェア」 ※以下の物件を含む。 ・ はじめにお読みください.txt ・ 「個人番号カード対応版券面事項表示ソフトウェア利用マニュアル」（本書） ・ 「個人番号カード対応版券面事項表示ソフトウェア」インストーラ（Setup_nckhsw.exe）	本ソフトウェアのインストールに使用する。	1 式
2	テンキーボード（任意）	IC カード化運転免許証の暗証番号を入力するために使用する。	1 台
3	IC カードリーダ／ライタ ※詳細は「2.2（1）ICカードリーダ／ライタ」を参照のこと。	IC カードへアクセスするために使用する。	1 台

2 導入手順

2.1 動作環境

本ソフトウェアが動作する環境を示します。下記以外の環境での動作は、保証対象外となります。

（1）OS

Windows 10 Pro（64bit）（バージョン 22H2）
Windows 11 Pro（64bit）（バージョン 22H2）
Windows 11 Pro（64bit）（バージョン 23H2）
Windows 11 Pro（64bit）（バージョン 24H2）

（2）その他

Visual C++2015 ライブラリのランタイムコンポーネントがインストールされていること。

インストールされていない場合、本ソフトウェアが動作しないため、以下 Microsoft サイトより「vc_redist.x86.exe」（Visual Studio 2015 の Visual C++ 再頒布可能パッケージ）をダウンロードし、適用すること。

「Microsoft.comに移動」

※サイトの URL は 2026/05/12 時点のものであり、マイクロソフト社において、予告なく変更になる可能性があります。

2.2 導入準備

（1）IC カードリーダ／ライタ

本ソフトウェアを使用するパソコンの USB ポートに、「表 2-1」に示すいずれかの IC カードリーダ／ライタが接続され、製品ドライバのインストールが正しく行われていることを確認してください。正しく接続されていない場合、本ソフトウェアは起動できません。

IC カードリーダ／ライタの設定手順については、製品付属のマニュアルを参照してください。

表 2-1　IC カードリーダ／ライタ

項番	型番	メーカ名
1	ACR1251DI-NTTCom	NTT コミュニケーションズ
2	ACR1251CL-NTTCom	
3	uTrust4701F	
4	RC-S380/S	ソニー
5	RC-S300	
6	RC-S300/S1 ※1	
7	FC4510HT22 ※2	富士通
8	ICT-3192U-A	富士フイルム イメージングシステム
9	ICT-3192U-M	
10	ICT-3201U-A	

※1 Windows11 のみ対応

※2 Windows10 のみ対応

・IC カードリーダ／ライタのドライバインストール後も本ソフトウェアが機器を認識しない場合があるため、IC カードリーダ／ライタインストール後にパソコンを再起動すること。

・上記の製品を置く机などの材質が鉄などの金属の場合、正常に動作しない場合があるので、適切な環境に設置するよう、留意すること。

2.3 インストール手順

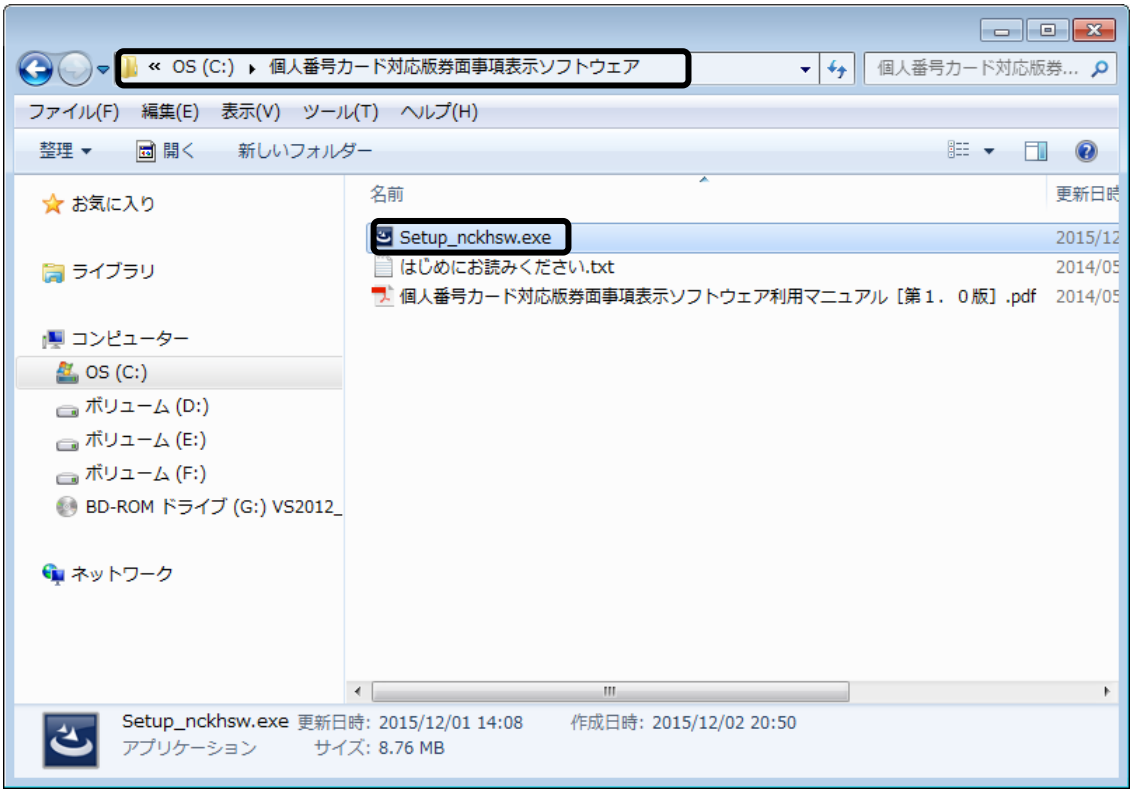
本ソフトウェアのインストール手順について説明します。

（1）パソコンへ、Administrator 権限のユーザーでログオンします。

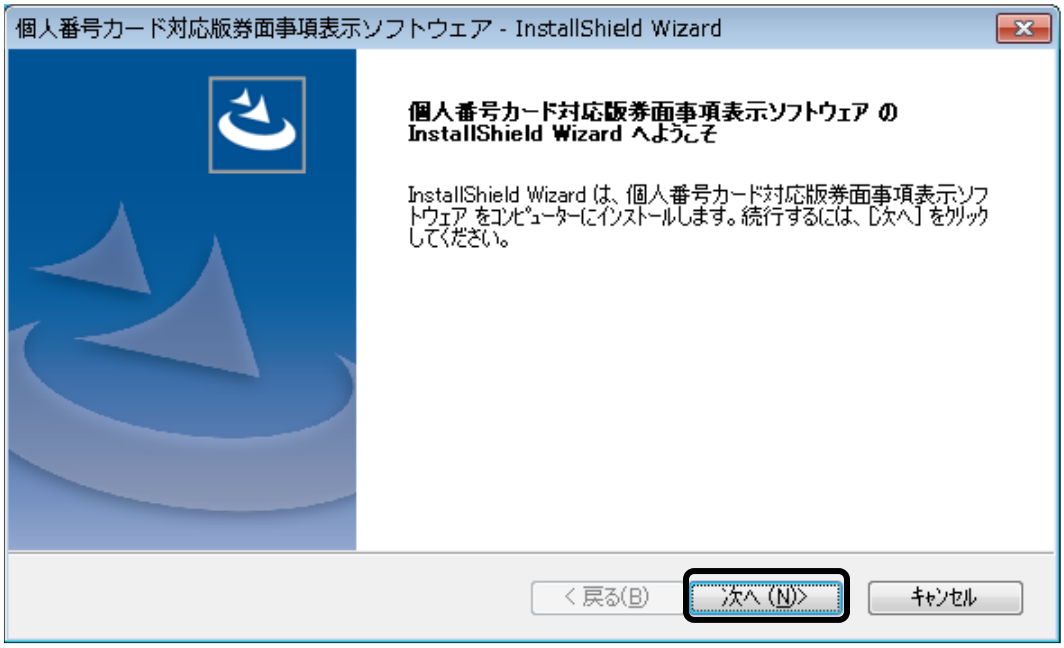
（2）エクスプローラを起動します。

（3）「C:¥個人番号カード対応版券面事項表示ソフトウェア」フォルダーに移動し、「Setup_nckhsw.exe」をダブルクリックします。

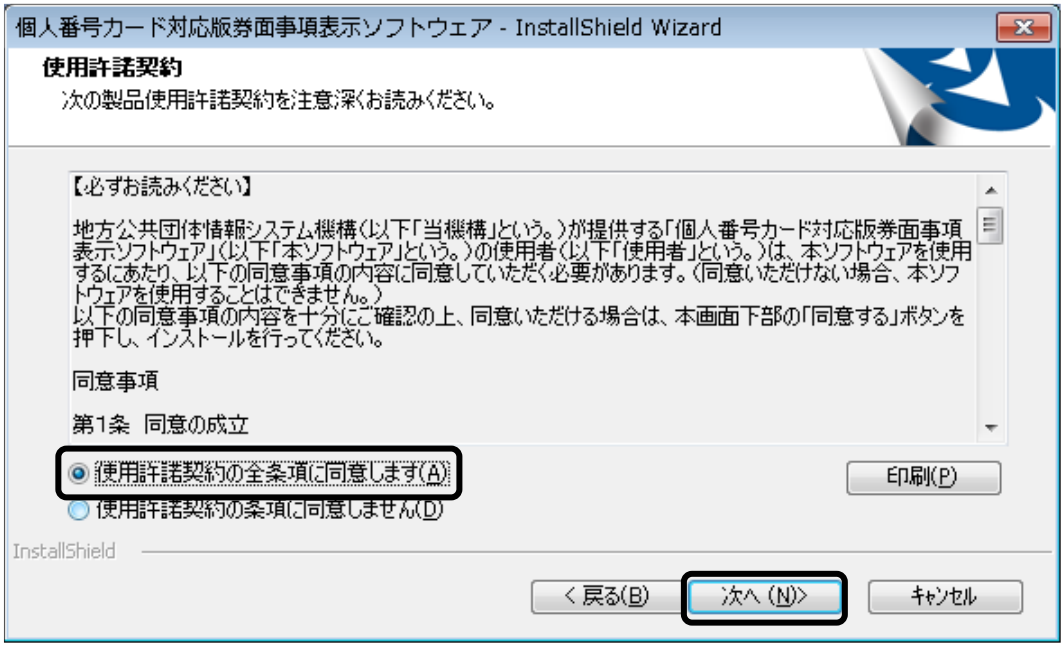
※下線部のドライブはダウンロード先フォルダーにより異なります。本手順は、ダウンロード先が「C:¥」の場合の例です。



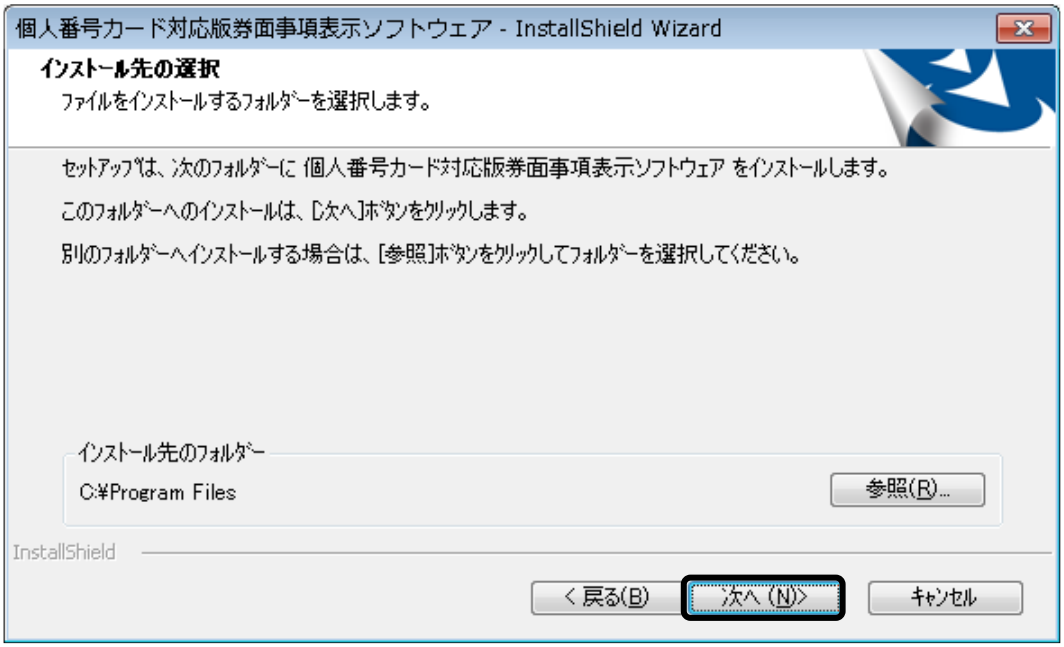
（4）以下の画面が表示されるので、「次へ(N)＞」ボタンを押下します。



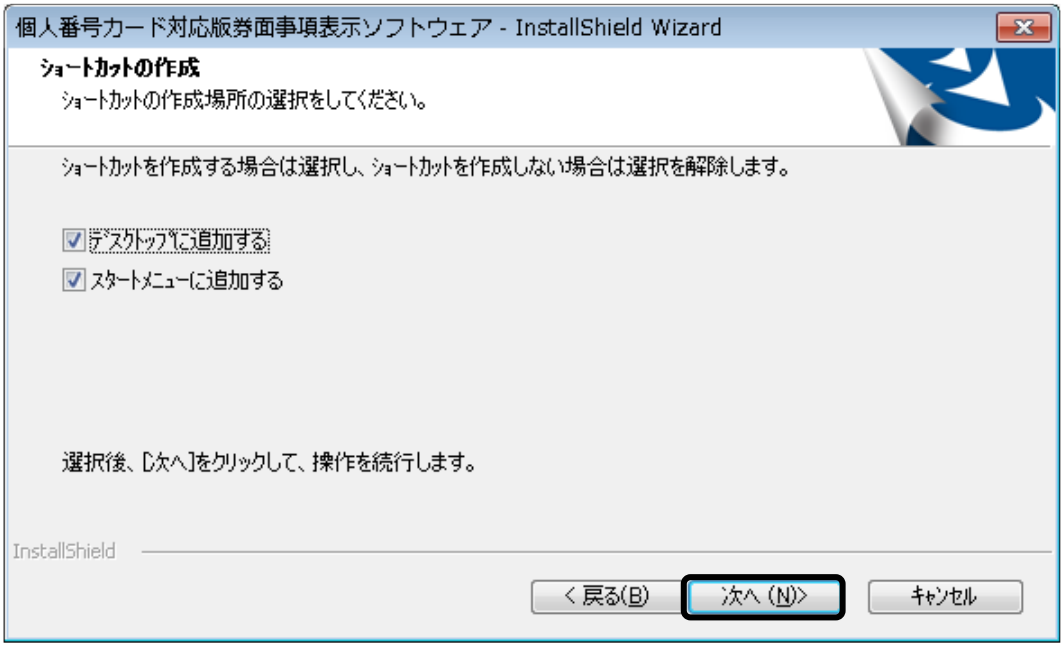
（5）使用許諾契約を読んだうえ、全条項に同意する場合は、「使用許諾契約の全条項に同意します(A)」を選択し、「次へ(N)＞」ボタンを押下します。



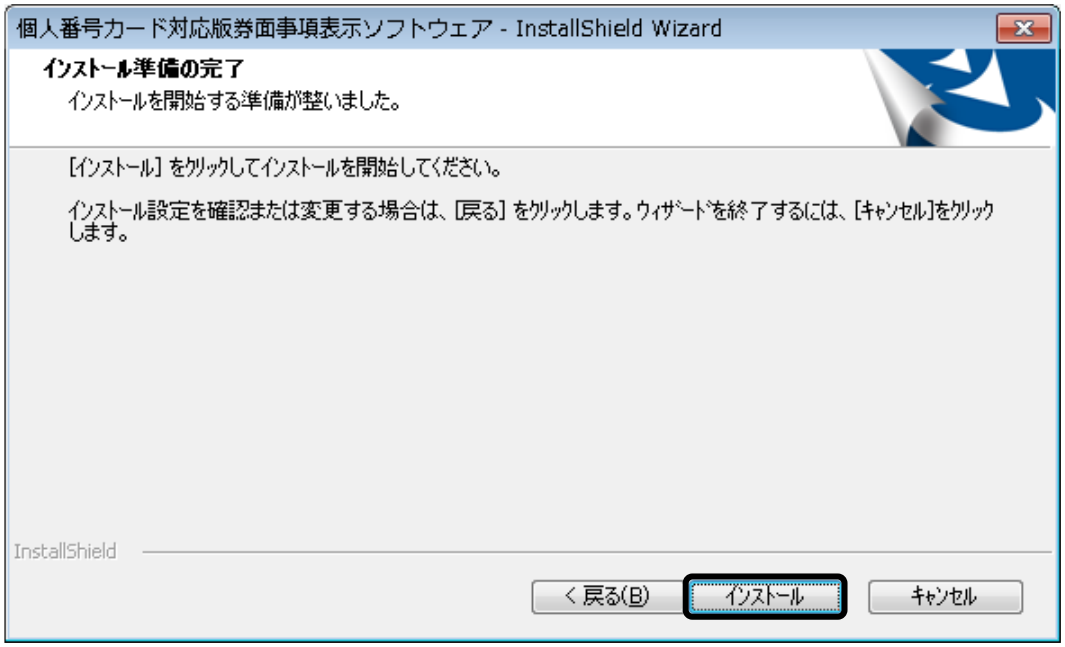
（6）インストール先を確認し、「次へ(N)＞」ボタンを押下します。インストール先を変更する場合は、「参照(R)...」ボタンを押下し、インストール先を指定します。



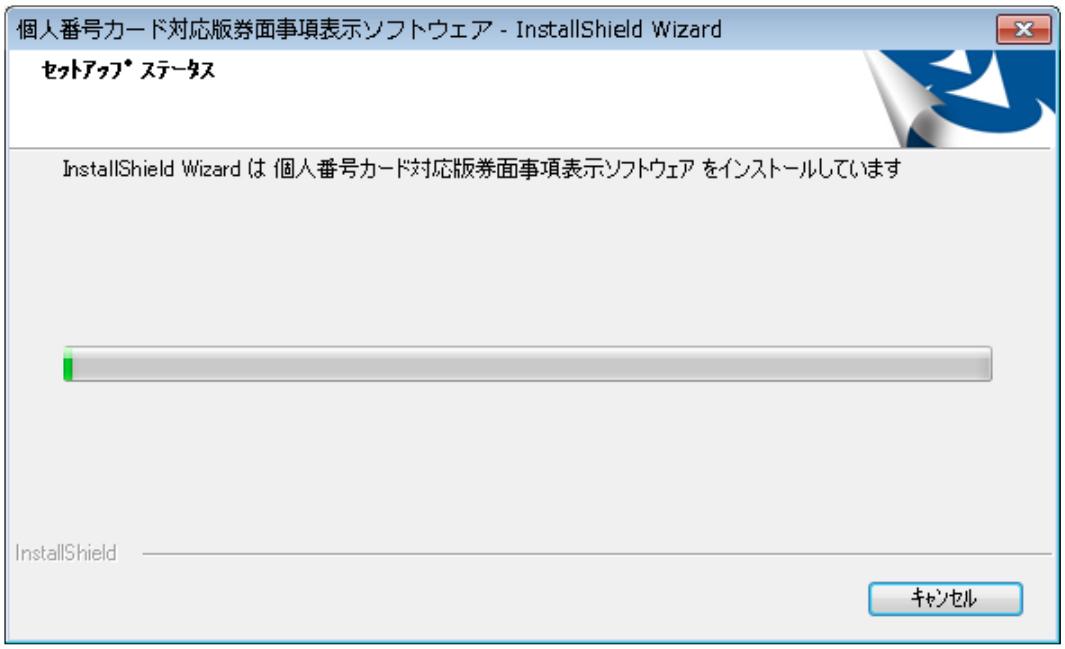
（7）設定内容を確認し、必要に応じてチェックボックスにチェックを行い、「次へ(N)＞」ボタンを押下します。



(8) 「インストール」ボタンを押下します。



(9) 以下の画面が表示されるので、インストールが終了するのを待ちます。



（10）「完了」ボタンを押下します。

（11）エクスプローラの画面右上の「×」ボタンを押下して、画面を閉じます。

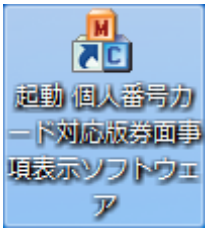
※パソコンの環境により、インストール完了後にパソコンの再起動を促される場合があります。
その場合は、画面の指示に従って対応してください。

以上で、本手順は完了となります。

2.4 動作確認

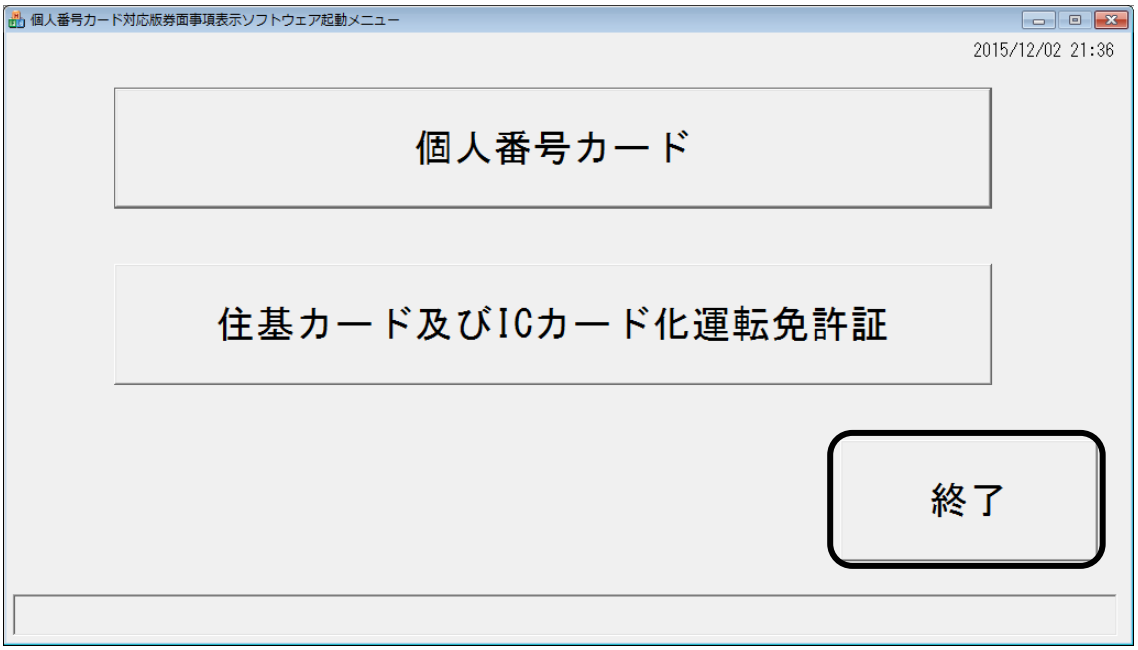
本ソフトウェアが正常にインストールされていることを確認するため、本ソフトウェアの起動と終了の動作確認について説明します。

(1) デスクトップに「起動 個人番号カード対応版券面事項表示ソフトウェア」ショートカットファイルが作成されていることを確認し、ダブルクリックします。



※このショートカットは「2.3 インストール手順　(7)」にて「デスクトップに追加する」にチェックを入れた場合に、表示されます。デスクトップにショートカットが存在しない場合は、「C:¥Program Files(x86)¥NCKHSW」フォルダーの「NCKHSW_MENU.exe」ファイルをダブルクリックします。(インストール先の変更を行った場合、下線部は読み替えてください。)

(2) 以下の画面が表示されることを確認し、「終了」ボタンを押下します。



以上で、本手順は完了となります。

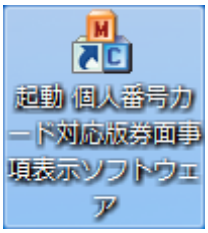
3 操作手順

本ソフトウェアの操作手順について説明します。

3.1 起動手順

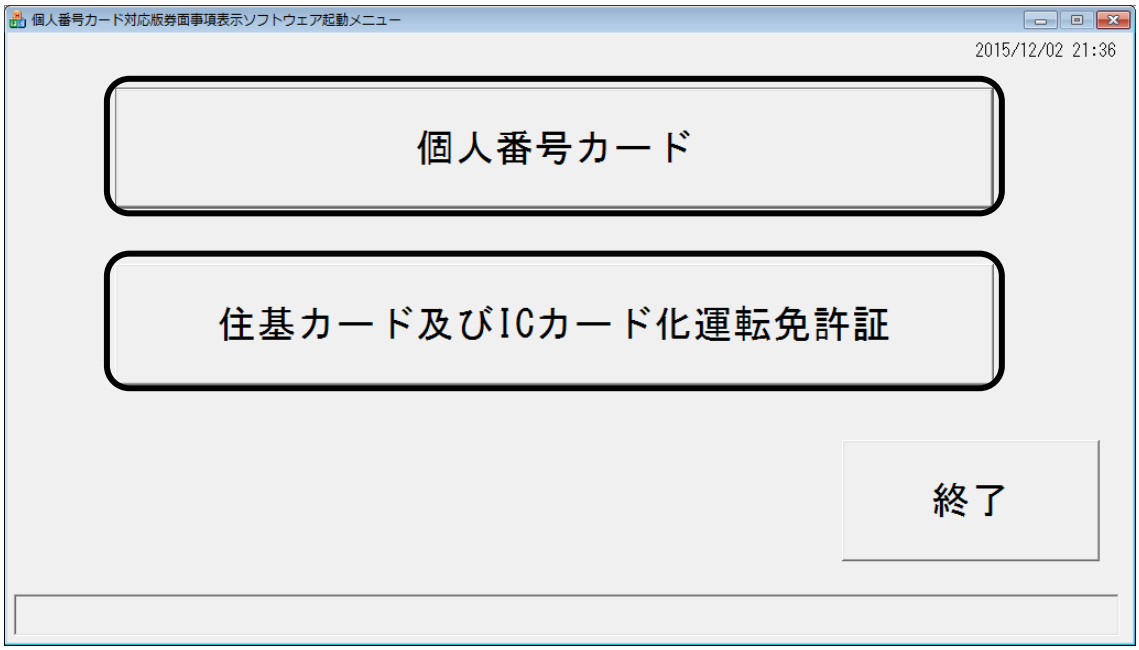
(1) パソコンへ、Administrator 権限のユーザーでログオンします。

(2) デスクトップの「起動 個人番号カード対応版券面事項表示ソフトウェア」ショートカットをダブルクリックします。



※デスクトップにショートカットが存在しない場合は、
「C:¥Program Files(x86)¥NCKHSW」フォルダーの「NCKHSW_MENU.exe」ファイルをダブルクリックします。(インストール先の変更を行った場合、下線部は読み替えてください。)

(3) 以下の画面が表示されます。使用するカードに応じて「個人番号カード」ボタンまたは「住基カード及び IC カード化運転免許証」ボタンを押下し、「カード読み込み開始」画面を表示します。



以上で、本手順は完了となります。

3.2 個人番号カード

（1）本ソフトウェアを起動し、個人番号カードの「カード読み込み開始」画面を表示します。

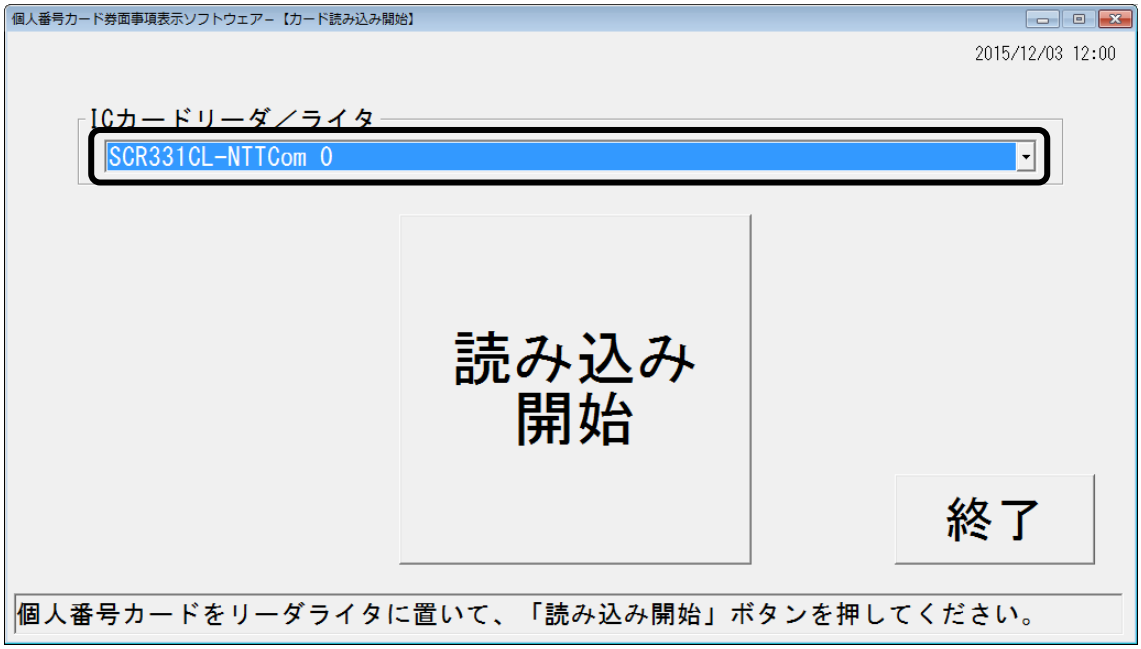
（起動手順については「3.1 起動手順」を参照してください。）

（2）使用する IC カードリーダ／ライタを、「IC カードリーダ／ライタ」から選択します。

※本ソフトウェアと同じ IC カードリーダ／ライタを使用する際、他のアプリケーションを起動しないようにしてください。

※パソコンに同じ機種の複数の IC カードリーダ／ライタを搭載している場合は、末尾の数字が異なる同一名称の IC カードリーダ／ライタが、プルダウンメニューに表示されるので、使用する IC カードリーダ／ライタを選択します。

※本ソフトウェアで動作保証している IC カードリーダ／ライタは「2.2（1）ICカードリーダ／ライタ」を参照してください。



※「IC カードリーダ／ライタ」に表示される内容は、接続している IC カードリーダ／ライタによって異なります。本画面は「SCR331CL-NTTcom」を接続している場合の例です。

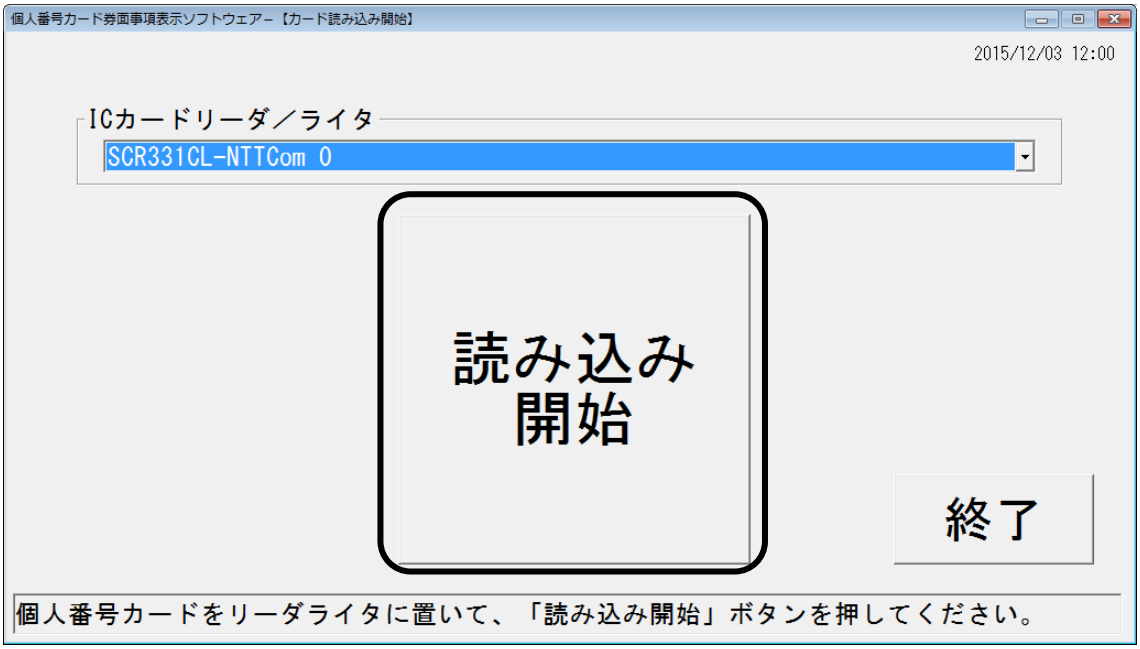
（3）IC カードリーダ／ライタの読み取り部に、個人番号カードを置きます。

※使用する IC カードリーダ／ライタが SCR331DI-NTTCom の場合、個人番号カードを SCR331DI-NTTCom の挿入口に挿入せず、SCR331DI-NTTCom の上に置いてください。そのとき、IC カードリーダ／ライタのランプが「緑色点灯」の状態であることを確認し、カードを置きます。カードを置いた後、IC カードリーダ／ライタのランプが「橙色点滅」の状態となるのを待ちます。磁気カードなどの非 IC カードや、個人番号カードの規格と異なる IC カードを置いた場合は、IC カードリーダ／ライタのランプは「緑色点灯」の状態のままとなります。

※SCR331CL-NTTCom リーダ／ライタの場合、カードを置いて、IC カードリーダ／ライタのランプが点灯状態から点滅状態となるのを待ちます。

※ランプがない IC カードリーダ／ライタの場合、カードと IC カードリーダ／ライタの間に隙間がないことのみを確認してください。

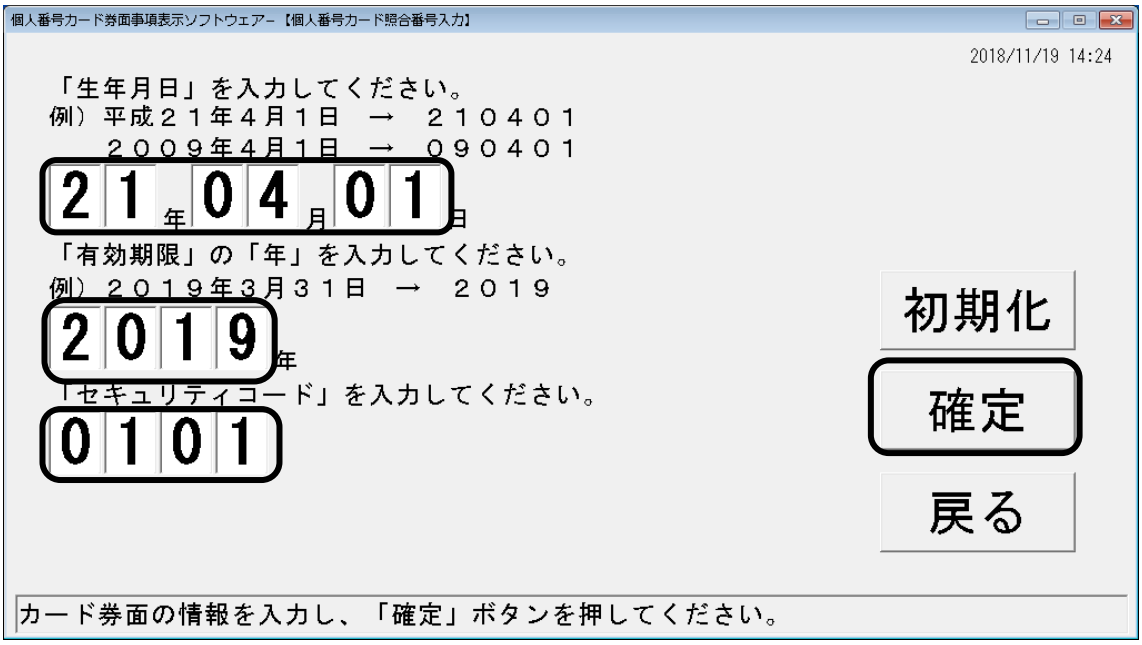
（4）「読み込み開始」ボタンを押下します。



※「読み込み開始」ボタンを押下後、個人番号カードの IC チップにアクセスするため、(5)が完了するまで個人番号カードを IC カードリーダ／ライタの読み取り部から取り除かないでください。取り除いた場合、(3) からやり直してください。

なお、「個人番号カード券面事項確認」画面が表示された後は、カードを取り除いても問題ありません。

(5) 以下の画面が表示されるので、カード券面の「生年月日」「有効期限」「セキュリティコード」を入力し、「確定」ボタンを押下します。
入力ミスなどで再度入力したい場合は、「初期化」ボタンを押下すると、入力エリアがすべてクリアされます。
前の画面（「カード読み込み開始」画面）に戻る場合は、「戻る」ボタンを押下します。



※本画面は、カード券面の生年月日が「平成 21 年 4 月 1 日」、有効期限が「2019 年 3 月 31 日」、セキュリティコードが「0101」である場合の入力例です。

※入力項目を続けて 10 回間違えた場合、個人番号カードがロックされるため、注意してください。

※個人番号カードの追記欄で生年月日の和暦／西暦の表記が変更されている場合、または有効期限が変更されている場合でも、変更後の内容ではなく、あらかじめカード券面に印字されている暦で生年月日、または有効期限の年を入力してください。

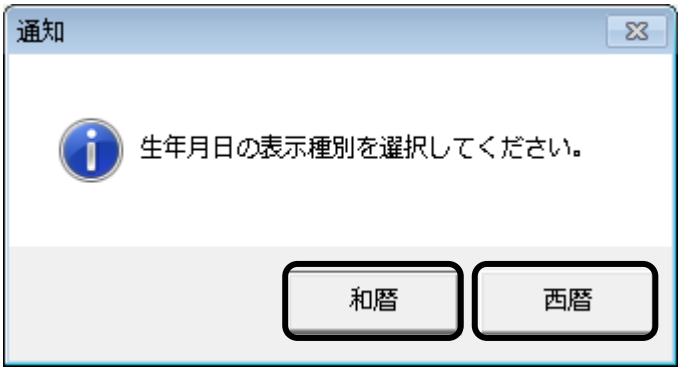
※カード券面の生年月日入力において、生年月日が数字ではない場合があります。その場合は「表 3-1」の内容を入力してください。

※個人番号カードを IC カードリーダ／ライタの読み取り部から取り除かないでください。取り除いた場合、(3) からやり直してください。

表 3-1 特殊な生年月日の入力方法（和暦）

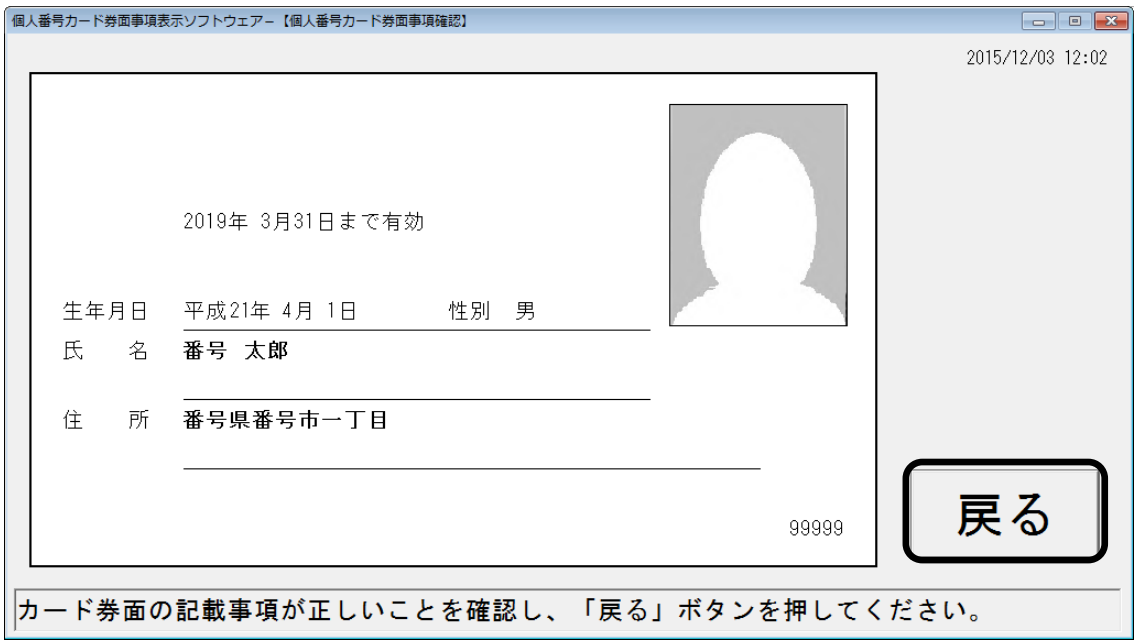
項番	券面の生年月日	入力方法
1	「平成 21 年春」 「平成 21 年夏」 「平成 21 年秋」 「平成 21 年冬」	月に「99」、日に「00」を入力する。 例：「21 年 99 月 00 日」
2	「平成 21 年 4 月上旬」 「平成 21 年 4 月中旬」 「平成 21 年 4 月下旬」	日に「99」を入力する。 例：「21 年 04 月 99 日」
3	空白 （生年月日のすべてもしくはいずれかが不明の場合、カード券面の生年月日が全て空白となる）	カード持参者に生年月日を確認し、不明の項目を「00」で入力する。ただし、年が不明の場合は月および日も「00」となり、月が不明の場合は日も「00」となる。 例： ・年月日がすべて不明：「00 年 00 月 00 日」 ・年が不明で月が「4 月」、日が「1 日」の場合：「00 年 00 月 00 日」 ・年が「平成 21 年」、月が不明、日が「1 日」の場合：「21 年 00 月 00 日」 ・年が「平成 21 年」、月が「4 月」、日が不明の場合：「21 年 04 月 00 日」

(6) カード券面の生年月日を確認して表示種別を選択します。カード券面の生年月日が和暦の場合は「和暦」を選択し、西暦の場合は「西暦」を選択してください。



(7) 以下の画面が表示されるので、表示された券面事項情報を確認します。この表示結果は、個人番号カード内部に格納されている券面事項情報であるため、この内容と券面の記載事項に相違がないことを確認し、「戻る」ボタンを押下する。

(A) (6) で「和暦」を選択した場合



※生年月日は、和暦で表示されます。

※生年月日すべてもしくはいずれかが不明の場合、「個人番号カード券面事項確認」画面の生年月日欄に不明の箇所が「不明」と表示されます。この場合、カード券面の生年月日の表記と異なるので注意してください。

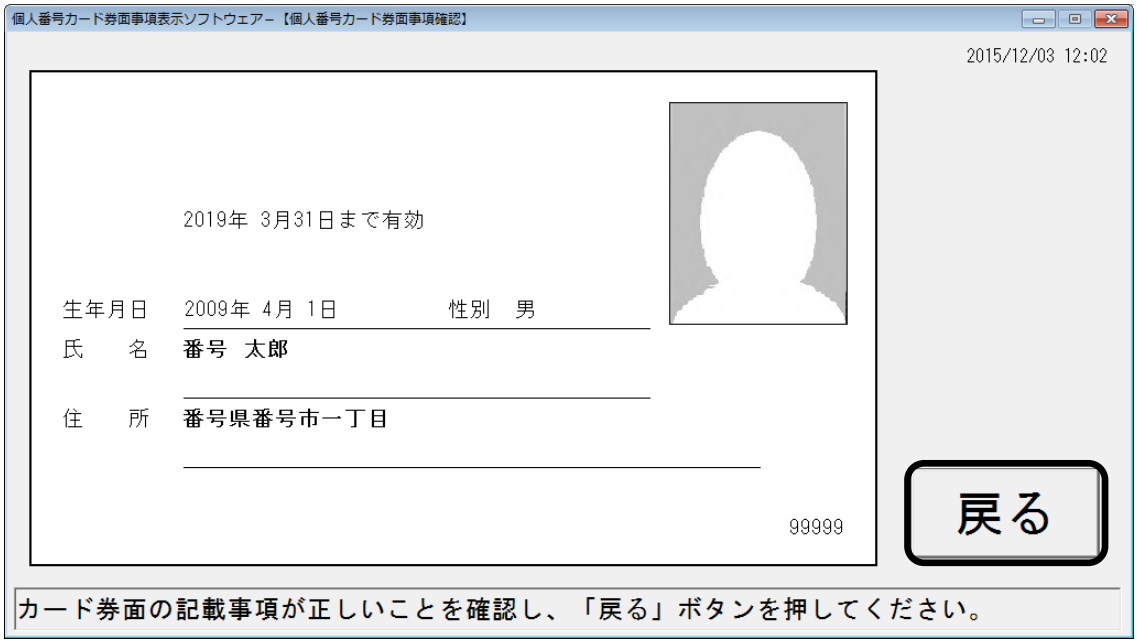
例：年が「平成 21 年」、月が「4 月」、日が不明の場合、カード券面の生年月日欄は空白で表示されますが、「個人番号カード券面事項確認」画面では、「平成 21 年 4 月不明」と表示されます。

※券面事項の右下には市町村コード（5 桁）が表示されます。発行元市町村が市町村合併を行った場合は、合併前の市町村コードが表示されます。

※個人番号カードの追記欄が変更記載済の場合は、表示された券面事項情報が追記欄の記載内容と相違がないことを確認します。

※券面事項情報を表示後、30 秒間画面操作がない場合は、券面事項情報が非表示になります。券面事項情報を再表示させるためには、画面上にマウスカーソルを移動させます。

(B) (6) で「西暦」を選択した場合



※生年月日は、西暦で表示されます。

※生年月日すべてもしくはいずれかが不明の場合、「個人番号カード券面事項確認」画面の生年月日欄に不明の箇所が「不明」と表示されます。この場合、カード券面の生年月日の表記と異なるので注意してください。

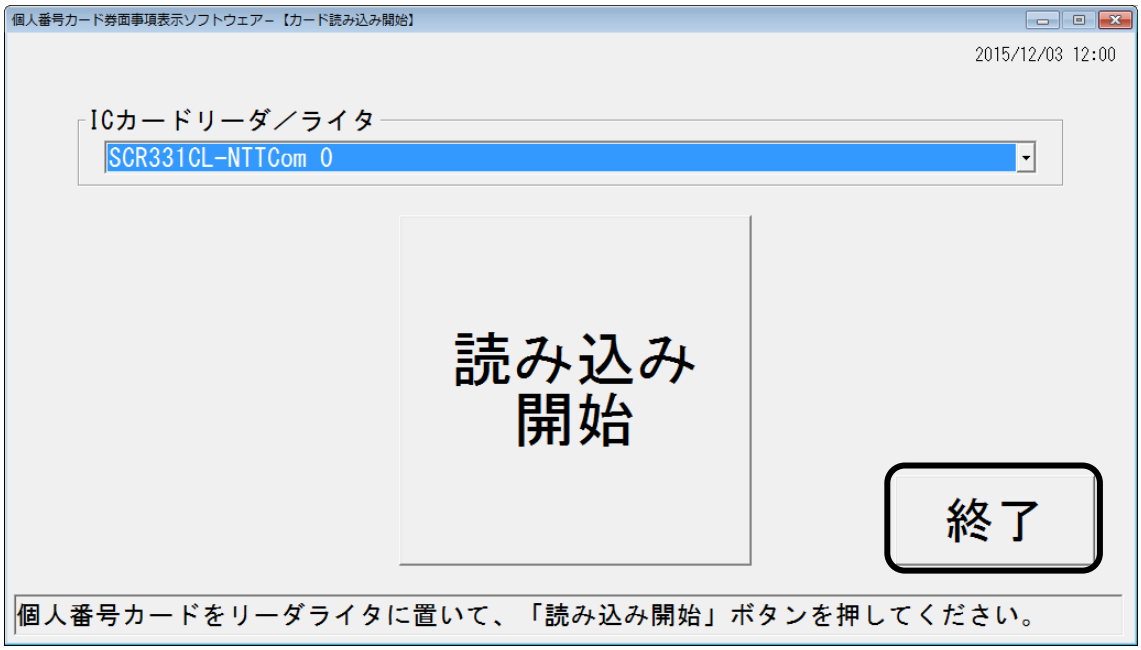
例：年が「2009 年」、月が「4 月」、日が不明の場合、カード券面の生年月日欄は空白で表示されますが、「個人番号カード券面事項確認」画面では、「2009 年 4 月不明」と表示されます。

※券面事項の右下には市町村コード（5 桁）が表示されます。発行元市町村が市町村合併を行った場合は、合併前の市町村コードが表示されます。

※個人番号カードの追記欄が変更記載済の場合は、表示された券面事項情報が追記欄の記載内容と相違がないことを確認します。

※券面事項情報を表示後、30 秒間画面操作がない場合は、券面事項情報が非表示になります。券面事項情報を再表示させるためには、画面上にマウスカーソルを移動させます。

(8) 以下の画面が表示されるので、個人番号カードを IC カードリーダ／ライタから取り除き、「終了」ボタンを押下して本ソフトウェアを終了します。



(9) 同一の個人番号カードを再度判定する場合や、別の個人番号カードを判定する場合は、再度（3）～（8）の手順を行います。

以上で、本手順は完了となります。

3.3 住基カードおよび IC カード化運転免許証

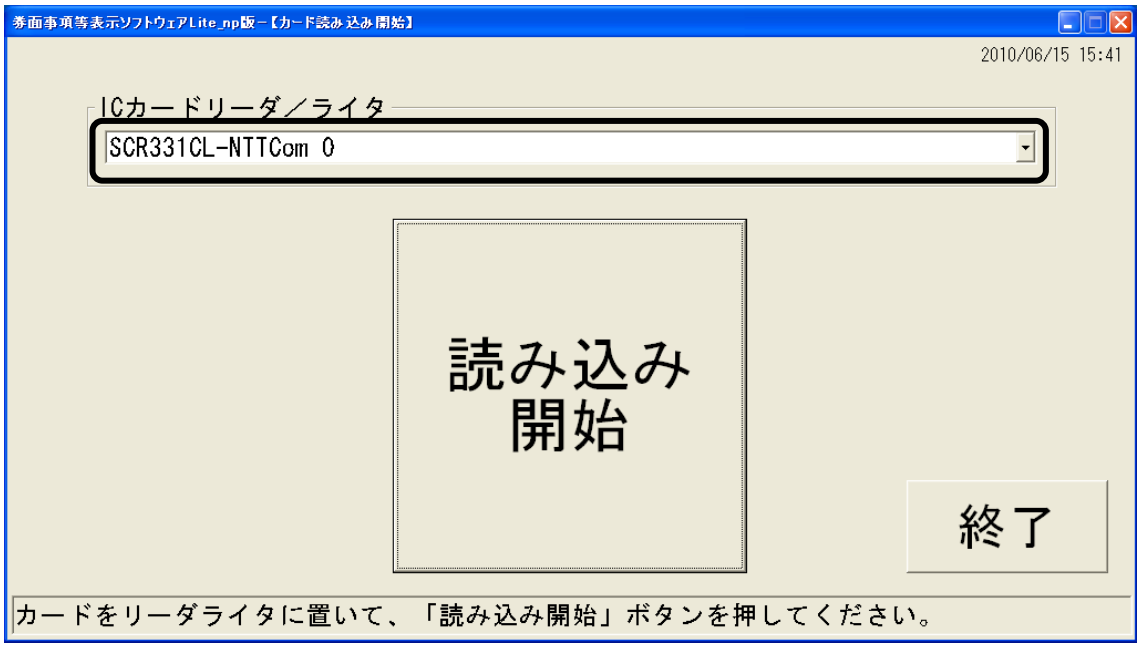
（1）本ソフトウェアを起動し、住基カードおよび IC カード化運転免許証の「カード読み込み開始」画面を表示します。
（起動手順については「3.1 起動手順」を参照してください。）

（2）使用する IC カードリーダ／ライタを、「IC カードリーダ／ライタ」から選択します。

※本ソフトウェアと同じ IC カードリーダ／ライタを使用するほかのアプリケーションを起動しないようにしてください。

※パソコンに同じ機種の複数の IC カードリーダ／ライタを搭載している場合は、末尾の数字が異なる同一名称の IC カードリーダ／ライタが、プルダウンメニューに表示されるので、使用する IC カードリーダ／ライタを選択します。

※本ソフトウェアで動作保証している IC カードリーダ／ライタは「2.2（1）ICカードリーダ／ライタ」を参照してください。



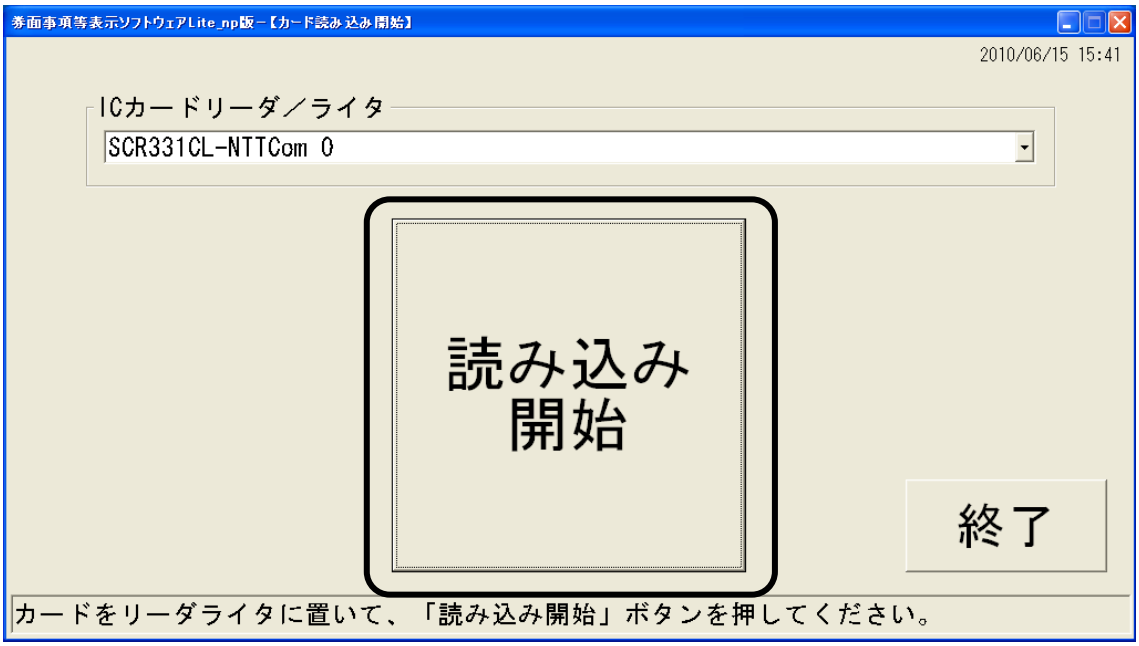
(3) IC カードリーダ／ライタの読み取り部に、住基カードまたは IC カード化運転免許証を置きます。

※SCR-331DI-NTTcom リーダ／ライタの場合、IC カードを、IC カードリーダ／ライタの接触 IC カード挿入口に挿入せず、IC カードリーダ／ライタの上に置いてください。
そのとき、IC カードリーダ／ライタのランプが「緑色点灯」の状態であることを確認し、カードを置きます。カードを置いた後、IC カードリーダ／ライタのランプが「橙色点滅」の状態となるのを待ちます。磁気カードなどの非 IC カードや、住基カードの規格と異なる IC カードを置いた場合は、IC カードリーダ／ライタのランプは「緑色点灯」の状態のままとなります。

※SCR331CL-NTTCom リーダ／ライタの場合、カードを置いて、IC カードリーダ／ライタのランプが点灯状態から点滅状態となるのを待ちます。

※ランプがない IC カードリーダ／ライタの場合、カードと IC カードリーダ／ライタのあいだに隙間がないことのみを確認してください。

(4) 「読み込み開始」ボタンを押下します。



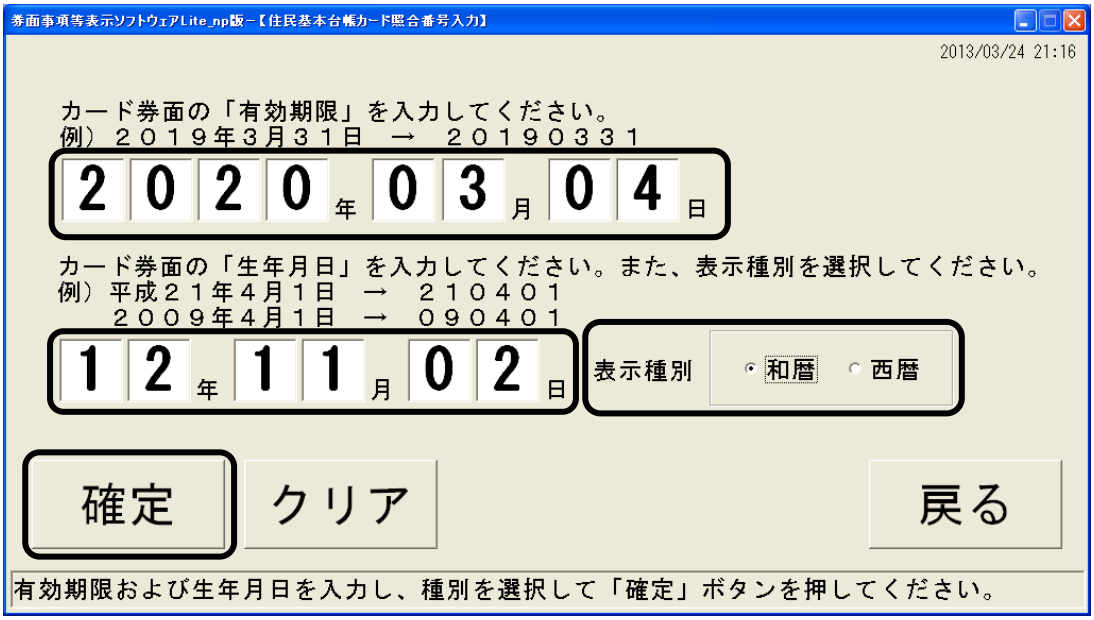
※「読み込み開始」ボタンを押下後、カードの IC チップにアクセスするので、カードを読み取り部から取り除かないでください。取り除いた場合、(3) からやり直してください。
なお、「住民基本台帳カード券面事項確認」画面または「IC カード化運転免許証券面事項確認」画面が表示された後は、カードを取り除いても問題ありません。

（5）券面事項確認を行います。

（A）住基カードの場合

（a）以下の画面が表示されるので、カード券面の「有効期限」と「生年月日」を入力し、「表示種別」を選択したのち、「確定」ボタンを押下します。
入力ミスなどで再度入力したい場合は、「クリア」ボタンを押下すると、入力エリアがすべてクリアされます。
前の画面（「カード読み込み開始」画面）に戻る場合は、「戻る」ボタンを押下します。

（ア）カード券面の生年月日が和暦の場合



※本画面は、カード券面の有効期限が「2020 年 3 月 4 日」、生年月日が「平成 12 年 11 月 2 日」である場合の入力例です。

※有効期限または生年月日を続けて 10 回間違えた場合、カードはロックされるので注意してください。

※表示種別には和暦を選択します。

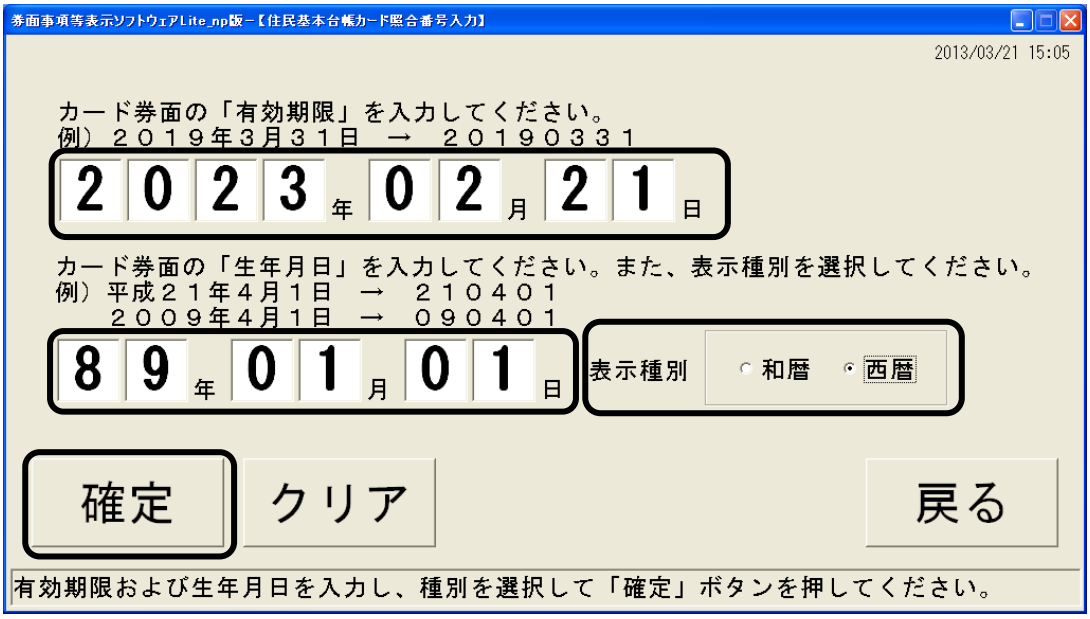
※カード券面の生年月日の入力において、生年月日が数字ではない場合があります。その場合は、次の表のように入力してください。

※住基カードを読み取り部から取り除かないでください。取り除いた場合、（3）からやり直してください。

表 3-2　生年月日が数字ではない場合の入力方法（券面の生年月日が和暦の場合）

項番	券面の生年月日	入力方法
1	「明治 10 年春」、 「明治 10 年夏」、 「明治 10 年秋」、 「明治 10 年冬」	月に「99」、日に「00」を入力する。 例：「10 年 99 月 00 日」
2	「明治 10 年 2 月上旬」、 「明治 10 年 2 月中旬」、 「明治 10 年 2 月下旬」	日に「99」を入力する。 例：「10 年 02 月 99 日」
3	空白 （生年月日のすべてもしくはいずれかが不明のカード所持者の場合、券面の生年月日がすべて空白となる）	カード所持者の生年月日を確認し、不明の項目を「00」で入力する。ただし、年が不明の場合は月および日も、月が不明な場合は日も「00」となる。 例： ・年月日がすべて不明：「00 年 00 月 00 日」 ・年が不明で月が「8 月」、日が「19 日」の場合：「00 年 00 月 00 日」 ・年が「昭和 52 年」、月が不明、日が「19 日」の場合：「52 年 00 月 00 日」 ・年が「昭和 52 年」、月が「8 月」、日が不明の場合：「52 年 08 月 00 日」

（イ）カード券面の生年月日が西暦の場合



※本画面は、カード券面の有効期限が「2023 年 2 月 21 日」、生年月日が「1989 年 1 月 1 日」である場合の入力例です。

※生年月日の「年」には、西暦年の下 2 桁を入力します。

※有効期限または生年月日を続けて 10 回間違えた場合、カードはロックされるので注意してください。

※表示種別には西暦を選択します。

※カード券面の生年月日の入力において、生年月日が数字ではない場合があります。その場合は、次の表のように入力してください。

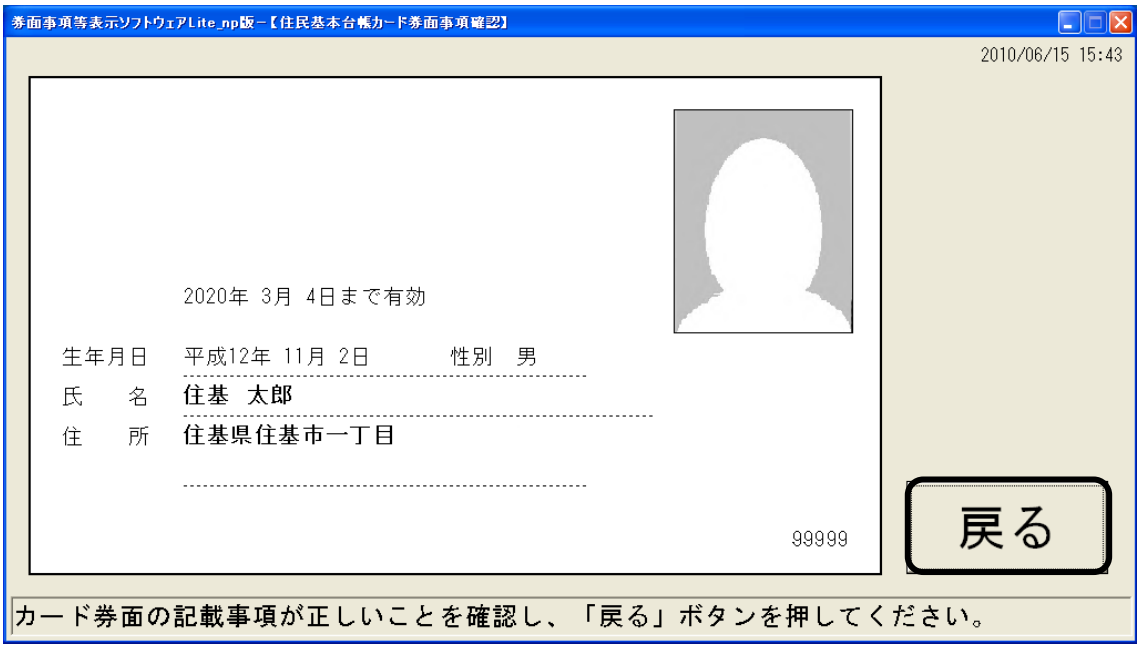
※住基カードを読み取り部から取り除かないでください。取り除いた場合、(3) からやり直してください。

表 3-3　生年月日が数字ではない場合の入力方法（券面の生年月日が西暦の場合）

項番	券面の生年月日	入力方法
1	「2010 年春」、 「2010 年夏」、 「2010 年秋」、 「2010 年冬」	月に「99」、日に「00」を入力する。 例：「10 年 99 月 00 日」
2	「2010 年 2 月上旬」、 「2010 年 2 月中旬」、 「2010 年 2 月下旬」	日に「99」を入力する。 例：「10 年 02 月 99 日」
3	空白 （生年月日のすべてもしくはいずれかが不明のカード持参者の場合、券面の生年月日がすべて空白となる）	カード持参者に生年月日を確認し、不明の項目を「00」で入力する。ただし、年が不明の場合は月および日も、月が不明な場合は日も「00」となる。 例： ・年月日がすべて不明：「00 年 00 月 00 日」 ・年が不明で月が「4 月」、日が「1 日」の場合：「00 年 00 月 00 日」 ・年が「2009 年」、月が不明、日が「1 日」の場合：「09 年 00 月 00 日」 ・年が「2009 年」、月が「4 月」、日が不明の場合：「09 年 04 月 00 日」

（b）以下の画面が表示されるので、表示結果を確認します。この表示結果はICカード内部に格納されている券面事項等であるため、この内容と券面の記載事項に相違がないことを確認し、「戻る」ボタンを押下します。

（ア）カード券面の生年月日が和暦の場合



※生年月日は、前画面で選択した表示種別（和暦）で表示されます。

※生年月日すべてもしくはいずれかが不明の場合、「住民基本台帳カード券面事項確認」画面の生年月日欄に不明の箇所が「不明」と表示されます。この場合、カード券面の生年月日の表記と異なるので注意してください。

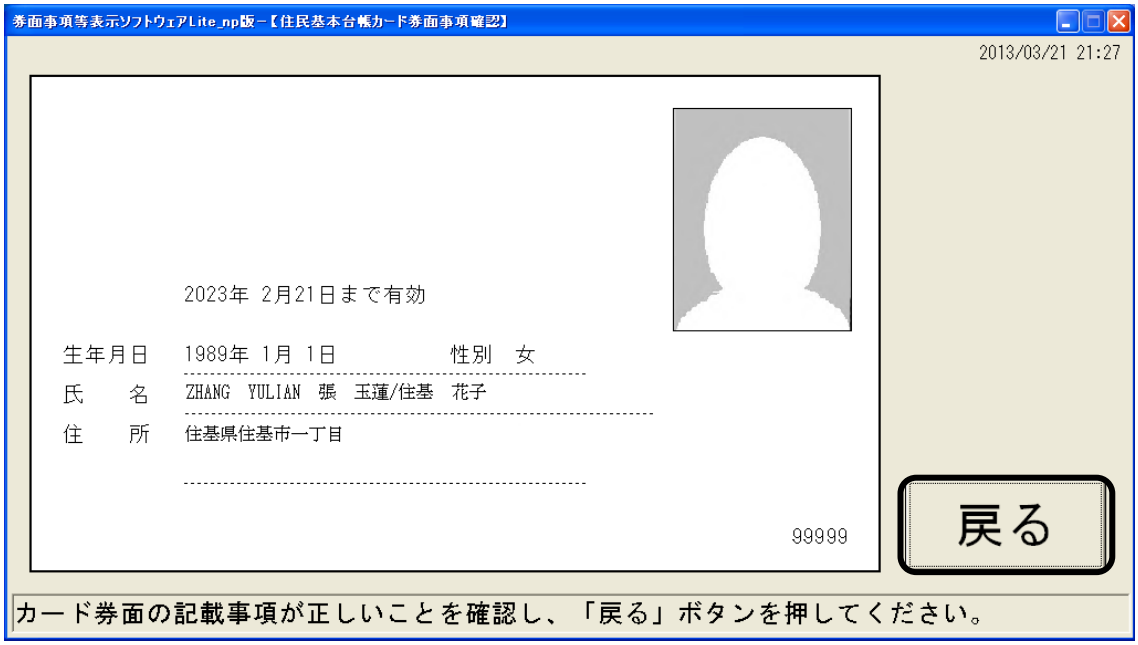
例：年が「昭和52年」、月が「8月」、日が不明の場合、カード券面の生年月日欄は空白で表示されますが、「住民基本台帳カード券面事項確認」画面では、「昭和52年 8月不明」と表示されます。

※券面事項の右下には市町村コード（5桁）が表示されます。発行元市町村が市町村合併を行った場合は、合併前の市町村コードが表示されます。

※住基カードに裏書きがされている場合は、カード裏面の記載事項に相違がないことを確認します。

※判定結果の表示後、30秒間の画面操作がない場合は、券面事項等が非表示になります。券面事項等を再表示させるためには、画面上にマウスカーソルを移動させます。

（イ）カード券面の生年月日が西暦の場合



※生年月日は、前画面で選択した表示種別（西暦）で表示されます。

※生年月日すべてもしくはいずれかが不明の場合、「住民基本台帳カード券面事項確認」画面の生年月日欄に不明の箇所が「不明」と表示されます。この場合、カード券面の生年月日の表記と異なるので注意してください。

例：年が「1989 年」、月が「1 月」、日が不明の場合、カード券面の生年月日欄は空白で表示されますが、「住民基本台帳カード券面事項確認」画面では、「1989 年 1 月不明」と表示されます。

※券面事項の右下には市町村コード（5 桁）が表示されます。発行元市町村が市町村合併を行った場合は、合併前の市町村コードが表示されます。

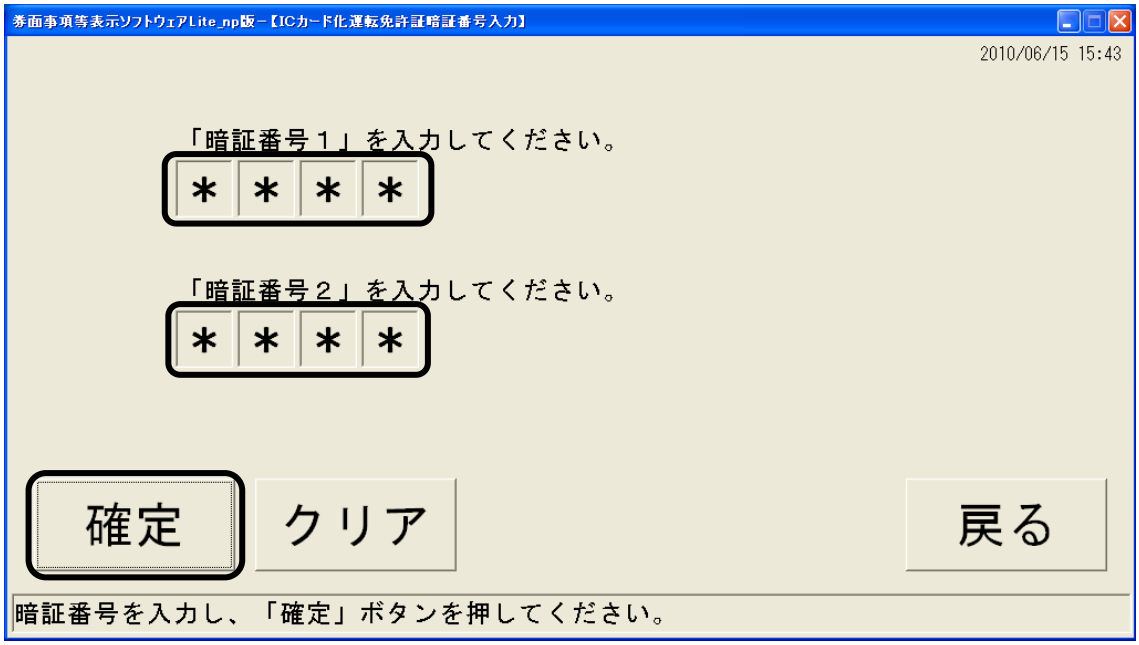
※住基カードに裏書きがされている場合は、カード裏面の記載事項に相違がないことを確認します。

※判定結果の表示後、30 秒間の画面操作がない場合は、券面事項等が非表示になります。券面事項等を再表示させるためには、画面上にマウスカーソルを移動させます。

（B）IC カード化運転免許証の場合

【留意事項】
・本ソフトウェアでは、2019 年 3 月以降に発行された IC カード化運転免許証はサポートされません。

（a）以下の画面が表示されるので、IC カード化運転免許証の「暗証番号 1」と「暗証番号 2」を入力し、「確定」ボタンを押下します。
入力ミスなどで再度入力したい場合は、「クリア」ボタンを押下すると、暗証番号 1 および暗証番号 2 の入力エリアがすべてクリアされます。
前の画面（「カード読み込み開始」画面）に戻る場合は、「戻る」ボタンを押下します。



※暗証番号 1 または暗証番号 2 を続けて 3 回間違えた場合、カードはロックされるので注意してください。

※暗証番号が設定されていないカードの場合は暗証番号 1、2 ともに「9999」を入力してください。

※「IC カード化運転免許証券面事項確認」画面での券面事項表示時に以下の処理を行います。

（ア）暗証番号 1、2 を入力
画面イメージは「(b)（ア)」を参照してください。

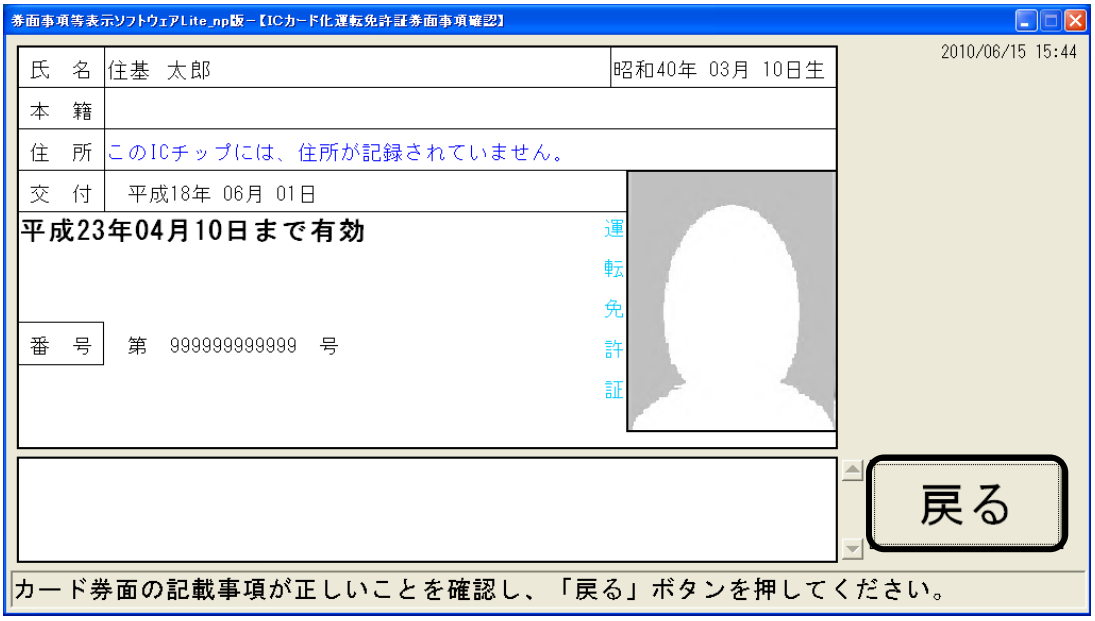
（イ）暗証番号 1 のみを入力
券面事項の読み出しは行われますが、顔写真は表示されません。
画面イメージは「(b)（イ)」を参照してください。

※IC カード化運転免許証を読み取り部から取り除かないでください。取り除いた場合、(3) からやり直してください。

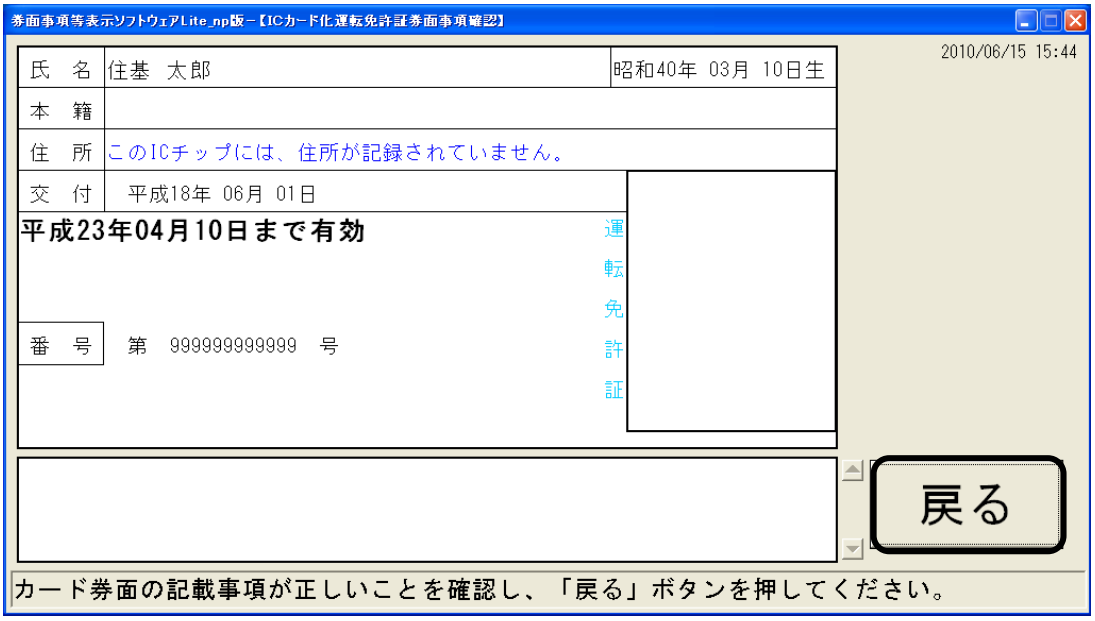
(b) 以下の画面が表示されるので、表示結果を確認します。

この表示結果は IC カード内部に格納されている券面事項等であるため、この内容と券面の記載事項に相違がないことを確認し、「戻る」ボタンを押下します。

（ア）暗証番号 1、2 を入力した場合



（イ）暗証番号 1 のみを入力した場合

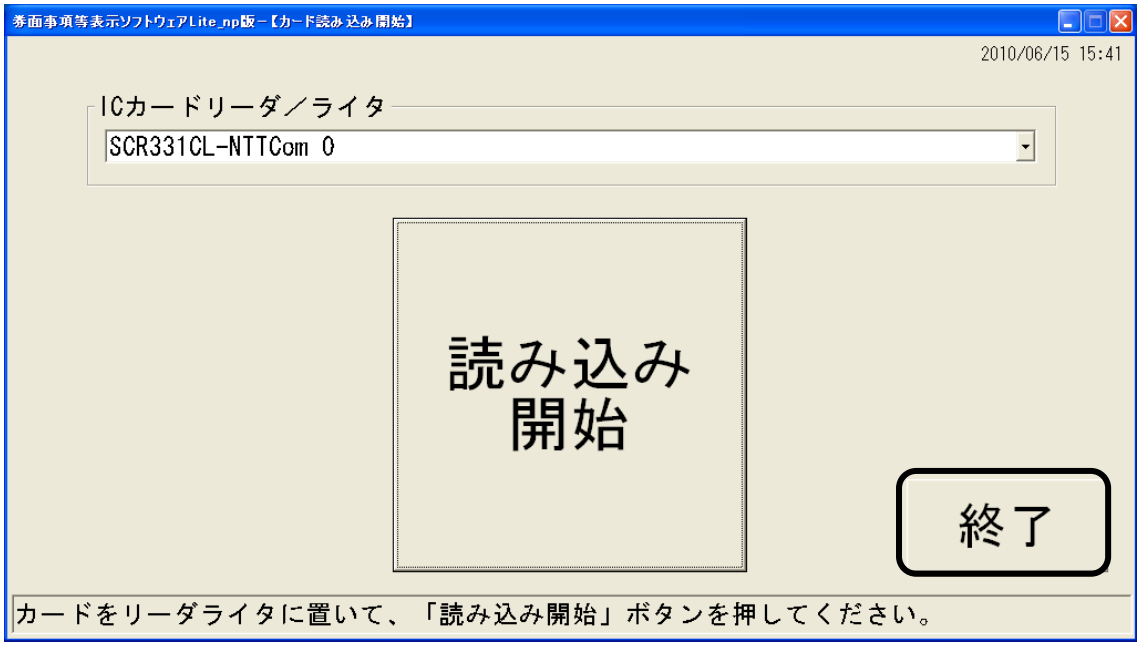


※暗証番号 1、2 を入力した場合、または暗証番号 1 のみを入力した場合のいずれにおいても記載事項欄、および記載事項変更欄の「本籍」は表示されません。

※IC カード化運転免許証に裏書きがされている場合は、カード裏面の記載事項に相違がないことを確認します。

※判定結果の表示後、30 秒間の画面操作がない場合は、券面事項等が非表示になります。券面事項等を再表示させるためには、画面上にマウスカーソルを移動させます。

(6) 以下の画面が表示されるので、カードを IC カードリーダ／ライタから取り除き、「終了」ボタンを押下して本ソフトウェアを終了します。



(7) 同一の住基カード（または IC カード化運転免許証）を再度判定する場合や、別の住基カード（または IC カード化運転免許証）を判定する場合は、再度（3）～（6）の手順を行います。

以上で、本手順は完了となります。

4 アンインストール手順

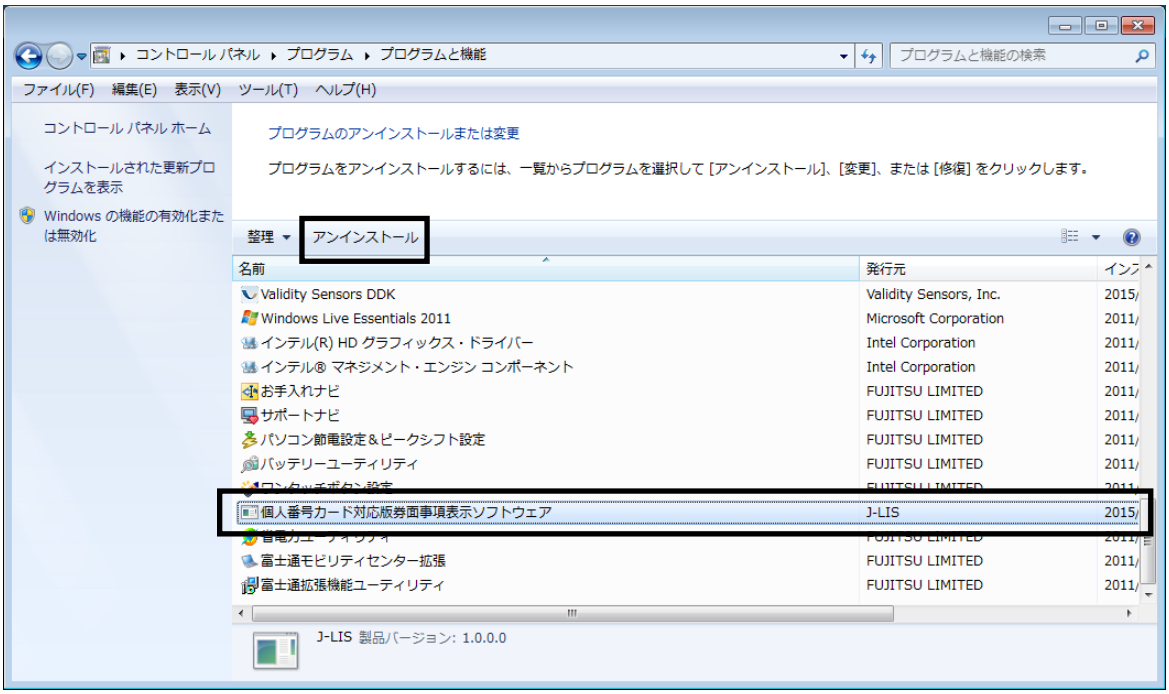
本ソフトウェアのアンインストールについて説明します。

(1) パソコンへ、Administrator 権限のユーザーでログオンします。

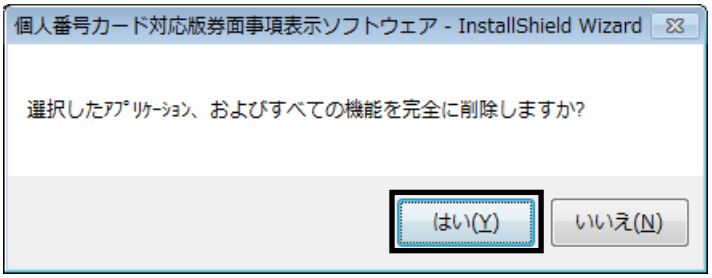
※本ソフトウェアが起動している場合は、終了させてください。

(2) 「コントロールパネル」を起動し、「プログラムのアンインストール」をダブルクリックします。

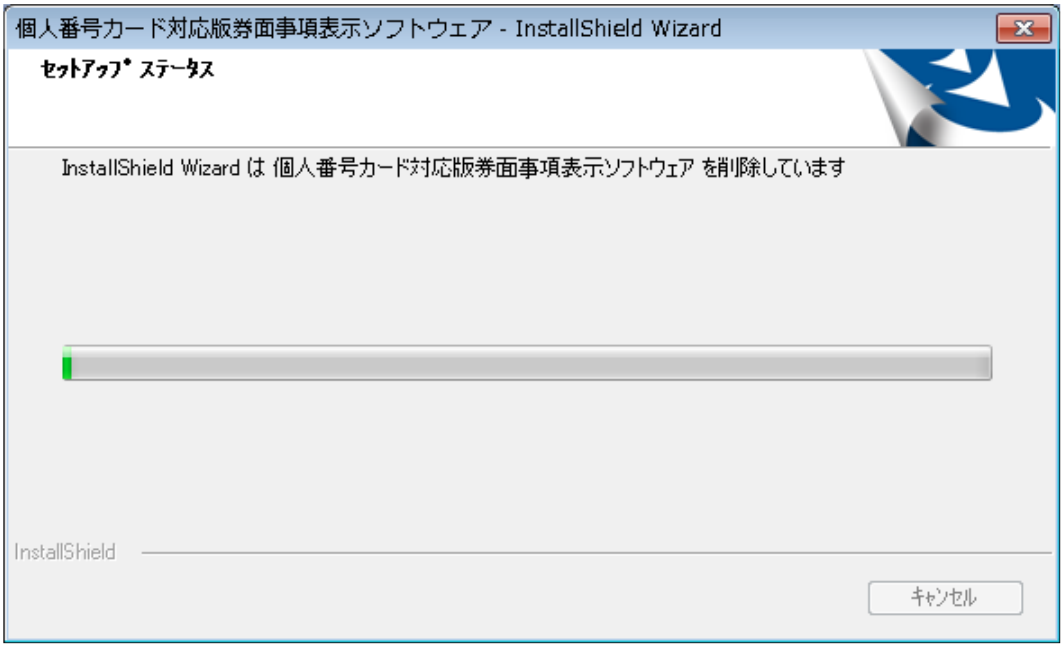
(3) 一覧から「個人番号カード対応版券面事項表示ソフトウェア」を選択し、「アンインストール」ボタンを押下します。



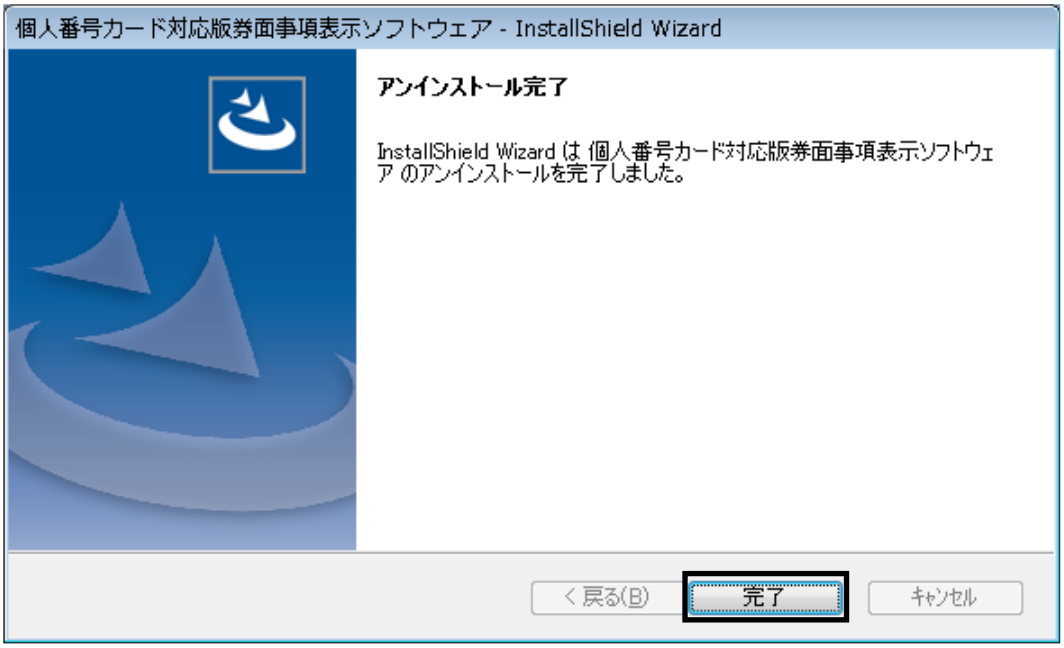
(4) 以下のメッセージが表示されるので、「はい(Y)」ボタンを押下します。



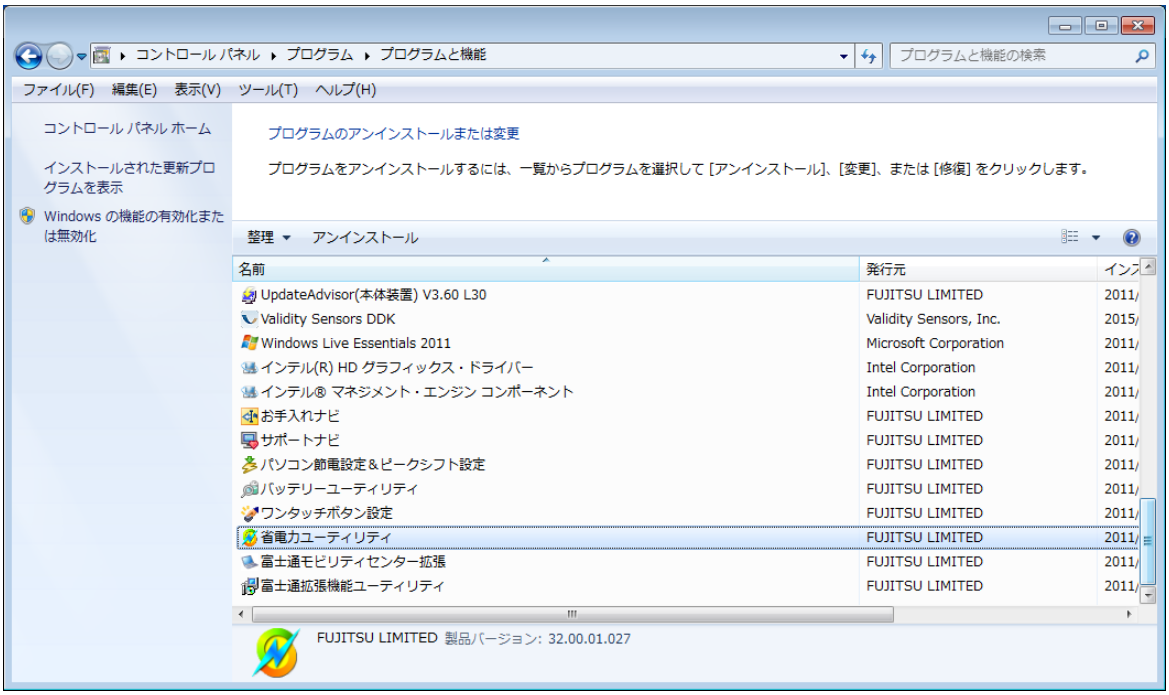
(5) 以下の画面が表示されるので、アンインストールが終了するのを待ちます。



(6) 「完了」ボタンを押下します。



(7) 一覧から「個人番号カード対応版券面事項表示ソフトウェア」が削除されていることを確認します。



(8) 「プログラムのアンインストール」画面右上の「×」ボタンを押下して、画面を閉じます。

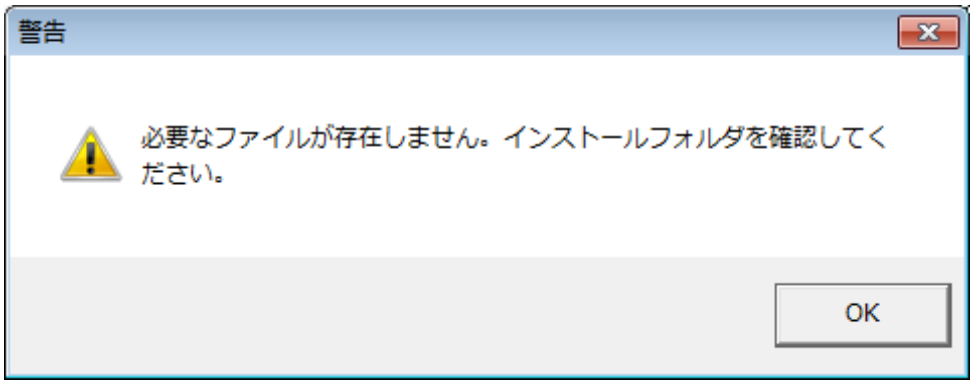
以上で、本手順は完了となります。

5 メッセージ一覧

本ソフトウェアで出力されるメッセージの一覧を示します。

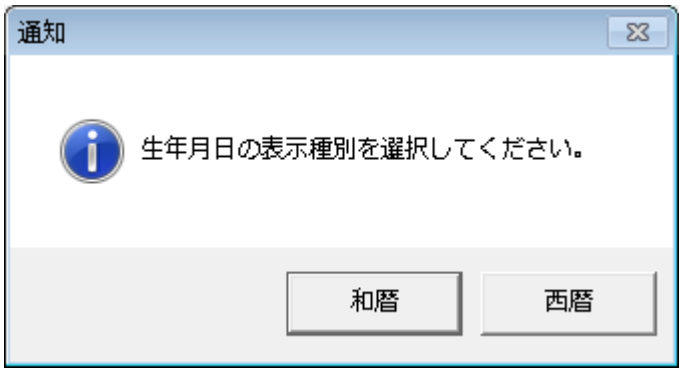
5.1 共通

(1) 「必要なファイルが存在しません。インストールフォルダを確認してください。」

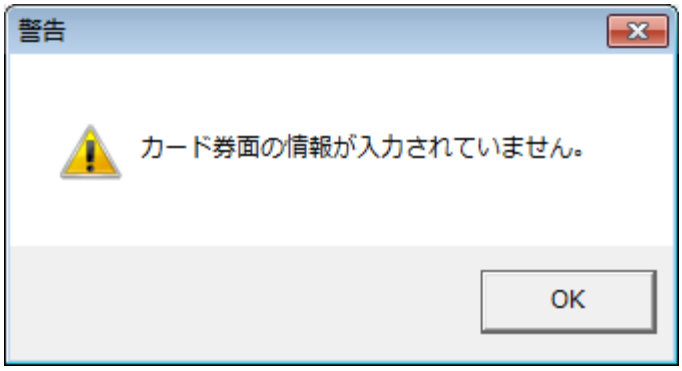
<table>
<tr><td colspan="2"> 
</td></tr>
<tr><td>メッセージ意味</td><td>本ソフトウェア起動時、インストールフォルダに構成ファイルが存在しない。</td></tr>
<tr><td>対応方法</td><td>本ソフトウェアの再インストールを行う。</td></tr>
</table>

5.2 個人番号カード

(1) 「生年月日の表示種別を選択してください。」

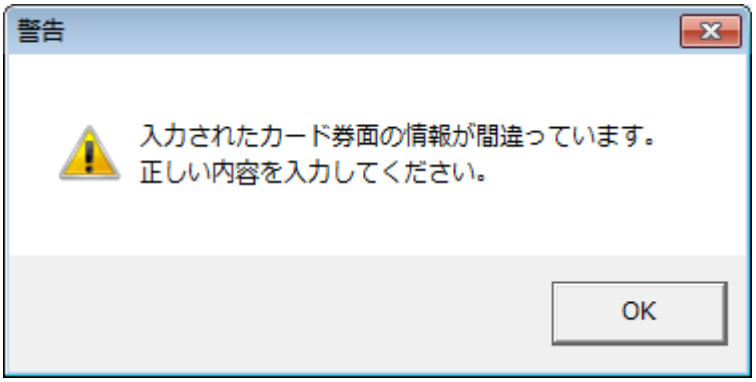
<table>
<tr><td colspan="2"> 
</td></tr>
<tr><td>メッセージ意味</td><td>「個人番号カード照合番号入力」画面で、生年月日、有効期限、セキュリティコードを入力し、「確定」ボタンを押下後、生年月日の表示種別の選択が必要である。</td></tr>
<tr><td>対応方法</td><td>カード券面の生年月日を確認して表示種別を選択する。</td></tr>
</table>

(2) 「カード券面の情報が入力されていません。」



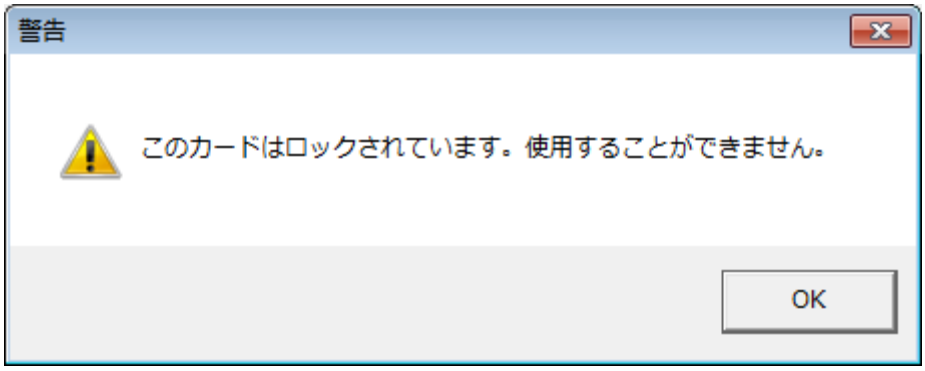
メッセージ意味	「個人番号カード照合番号入力」画面で、カード券面の情報に入力漏れがある。
対応方法	入力漏れ事項を入力する。

(3) 「入力されたカード券面の情報が間違っています。正しい内容を入力してください。」



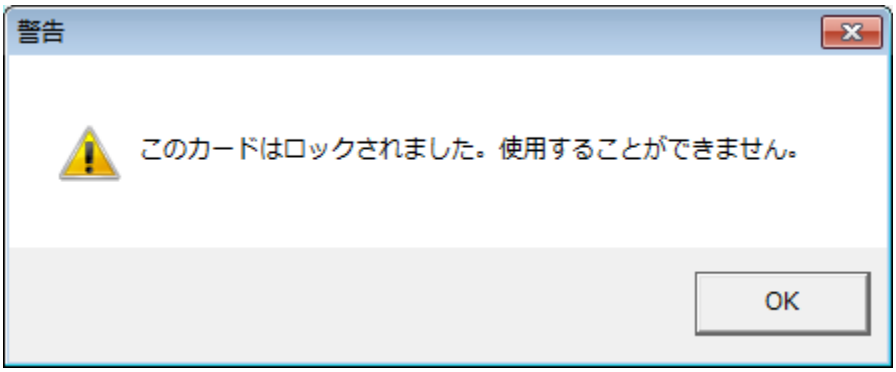
メッセージ意味	「個人番号カード照合番号入力」画面で入力した生年月日、有効期限、セキュリティコードに間違った内容が含まれている。
対応方法	正しい内容で再入力する。
注意事項	続けて 10 回間違えた場合、個人番号カードはロックされるので注意すること。

(4) 「このカードはロックされています。使用することができません。」



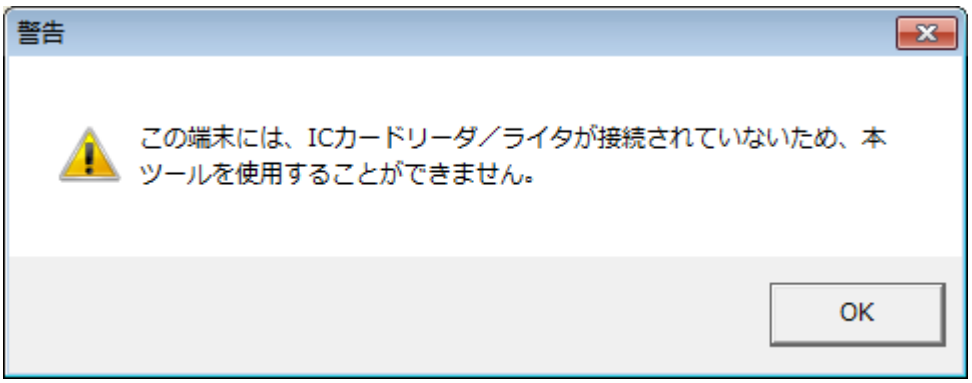
メッセージ意味	このメッセージは以下の場合に発生する。 ・ 「個人番号カード照合番号入力」画面で入力した生年月日、有効期限、セキュリティコードを続けて 10 回間違えて既にロックされていた場合。
対応方法	この個人番号カードは券面事項の確認には使用できないので、住所地市町村で照合番号のロック解除を行うこと。

(5) 「このカードはロックされました。使用することができません。」



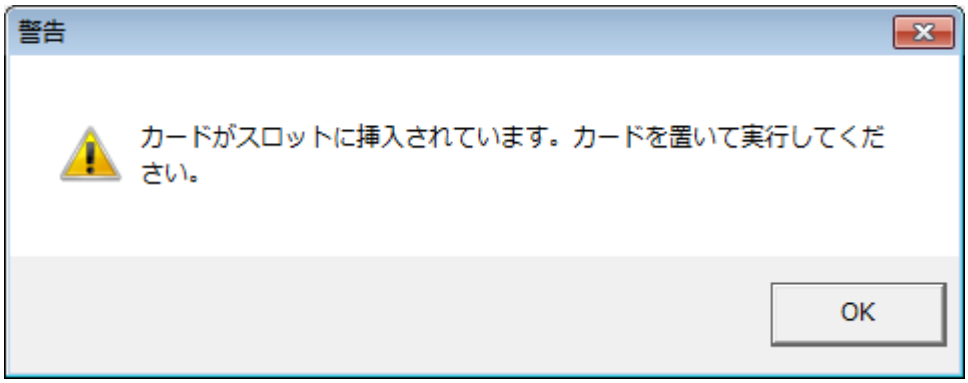
メッセージ意味	このメッセージは以下の場合に発生する。 ・ 「個人番号カード照合番号入力」画面で入力した生年月日、有効期限、セキュリティコードを続けて 10 回間違えた場合。
対応方法	この個人番号カードは券面事項の確認には使用できないので、住所地市町村で照合番号のロック解除を行うこと。

(6) 「この端末には、IC カードリーダ／ライタが接続されていないため、本ツールを使用することができません。」



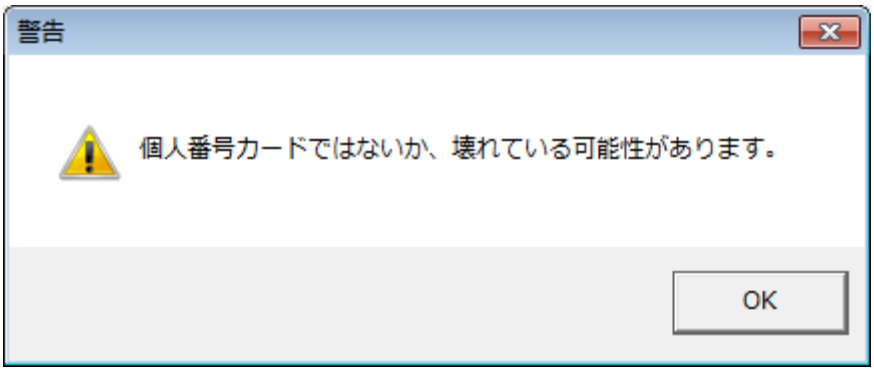
メッセージ意味	使用可能な IC カードリーダ／ライタが接続されていないため、本ソフトウェアを使用できない。
対応方法	本ソフトウェアを終了した後、IC カードリーダ／ライタの設定を正しく行い、再度処理を行う。

(7) 「カードがスロットに挿入されています。カードを置いて実行してください。」



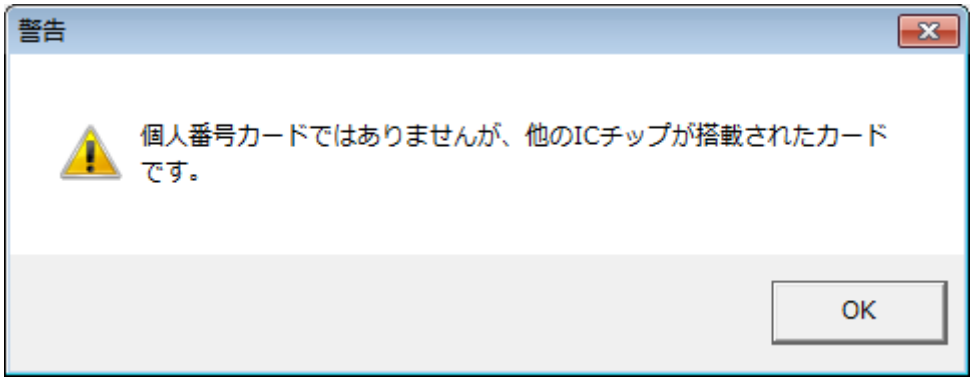
メッセージ意味	SCR331DI-NTTcom リーダ／ライタの場合に、読み取り可能なカードが IC カードリーダ／ライタのスロットに挿入されている。
対応方法	スロットから取り出し、IC カードリーダ／ライタの読み取り部に置く。

(8) 「個人番号カードではないか、壊れている可能性があります。」



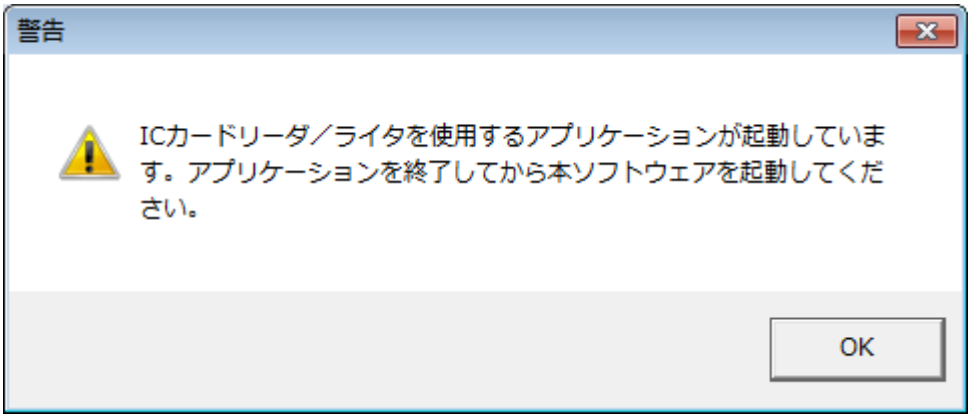
メッセージ意味	次のいずれかの場合に発生する。 ・ IC カードリーダ／ライタに個人番号カードが置かれていない場合。 ・ 個人番号カードではないカードが置かれている場合。
対応方法	本ソフトウェアの対象とするカードであるかを確認する。カードを正しい位置に置いた場合でも発生する場合、住所地市町村に問い合わせること。

(9) 「個人番号カードではありませんが、他の IC チップが搭載されたカードです。」



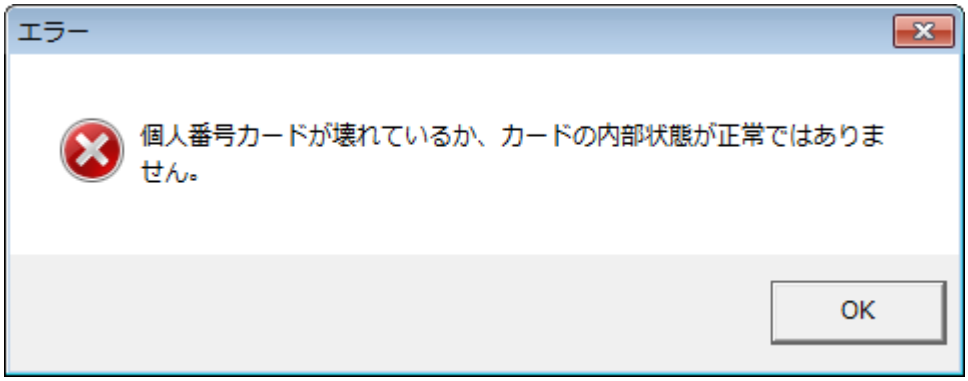
メッセージ意味	カードへのアクセスは可能であるが、個人番号カードではないカードである。
対応方法	本ソフトウェアの対象とするカードであるかを確認する。カードを正しい位置に置いた場合でも発生する場合、住所地市町村に問い合わせること。

（10）「IC カードリーダ／ライタを使用するアプリケーションが起動しています。アプリケーションを終了してから本ソフトウェアを起動してください。」



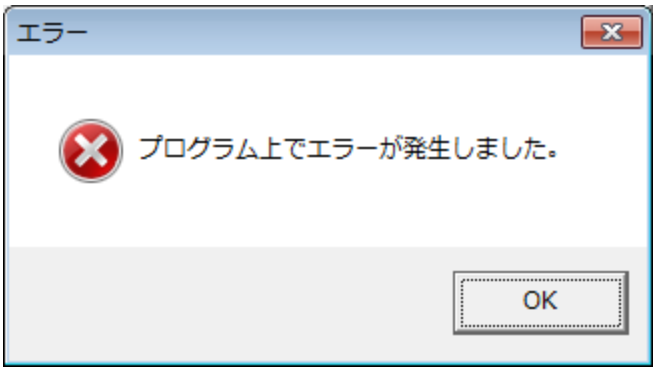
メッセージ意味	本ソフトウェアの起動時に、IC カードリーダ／ライタを使用する他のアプリケーション（本ソフトウェアの住基カードおよび IC カード化運転免許証向け画面等）が既に起動していた。
対応方法	IC カードリーダ／ライタを使用する他のアプリケーション（本ソフトウェアの住基カードおよび IC カード化運転免許証向け画面等）を終了したあと、再度本ソフトウェアを起動する。

（11）「個人番号カードが壊れているか、カードの内部状態が正常ではありません。」



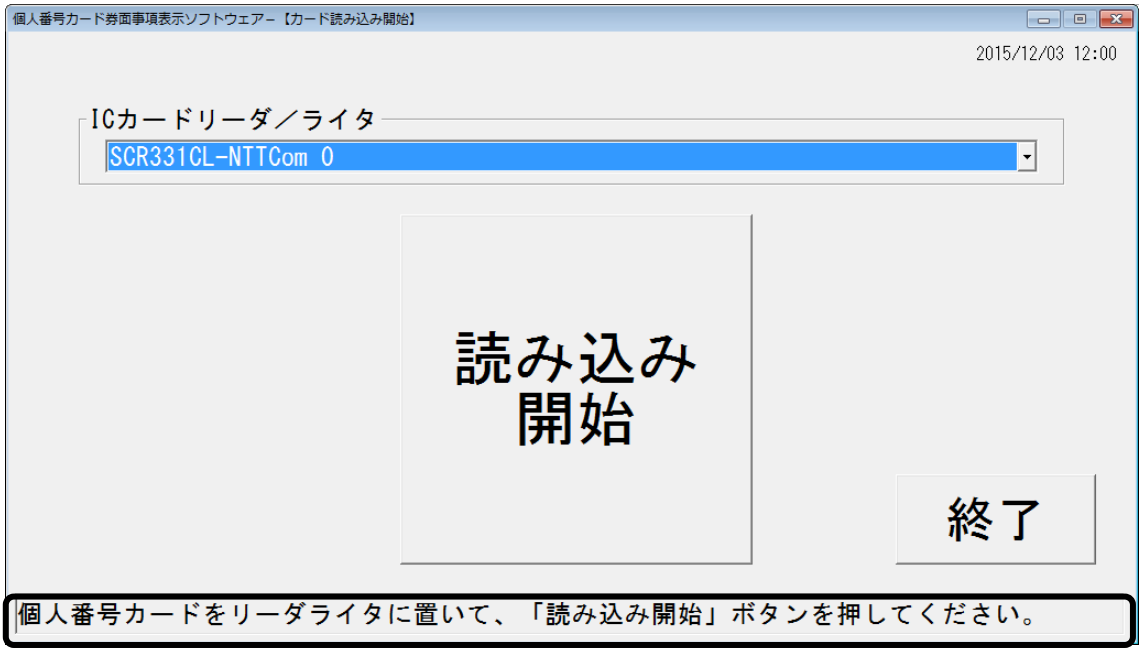
メッセージ意味	個人番号カードが壊れているか、カードの内部状態が正常ではないので、券面事項を表示できない。
対応方法	この個人番号カードは、券面事項の確認には使用できないのでカード所持者は住所地市町村の窓口に連絡する。

（12）「プログラム上でエラーが発生しました。」



メッセージ意味	本ソフトウェアで何らかの異常が発生した。
対応方法	IC カードリーダ／ライタの上に、読み込み対象とするカードが正しく置かれていることを確認し再度操作を行う。それでも問題が解決できない場合は、本ソフトウェアの再起動または本ソフトウェアおよび IC カードリーダライタのドライバの再インストールを行う。

※以下に続く（13）～（16）のメッセージは、各画面下部のガイダンス欄（太枠線内）に出力されます。



（13）「個人番号カードをリーダライタに置いて、「読み込み開始」ボタンを押してください。」

個人番号カードをリーダライタに置いて、「読み込み開始」ボタンを押してください。	
メッセージ意味	券面事項を表示する準備ができた。
対応方法	個人番号カードを IC カードリーダ／ライタの読み取り部に置いて、「読み込み開始」ボタンを押下する。

（14）「カードを読み込んでいます。」

カードを読み込んでいます。	
メッセージ意味	「カード読み込み開始」画面で、個人番号カードを置いて「読み込み開始」ボタンを押下した後、カードを読み込んでいる最中である。
対応方法	次の画面が表示されるのを待つ。

（15）「カード券面の情報を入力し、「確定」ボタンを押してください。」

カード券面の情報を入力し、「確定」ボタンを押してください。	
メッセージ意味	「個人番号カード照合番号入力」画面で、生年月日と有効期限、セキュリティコードが入力可能である。
対応方法	生年月日と有効期限、セキュリティコードを入力し、「確定」ボタンを押下する。

（16）「カード券面の記載事項が正しいことを確認し、「戻る」ボタンを押してください。」

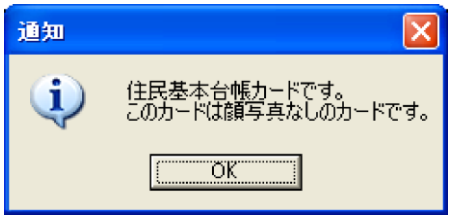
カード券面の記載事項が正しいことを確認し、「戻る」ボタンを押してください。	
メッセージ意味	個人番号カードの券面事項情報が正常に表示され、カード券面と比較できる状態となった。
対応方法	カード券面の記載事項と画面に表示された券面事項を比較する。

5.3 住基カードおよび IC カード化運転免許証

(1) 「このカードには画面に表示すべき情報が記録されていません。」

<table>
<tr><td colspan="2">
</td></tr>
<tr><td>メッセージ意味</td><td>IC チップ内に券面事項が書き込まれていないため、情報を表示できない住基カード、または IC カード化されていない運転免許証および本ソフトウェアの対象外のカードである。</td></tr>
<tr><td>対応方法</td><td>本ソフトウェアの対象とするカードではないため、本ソフトでの券面事項情報の表示はできない。本ソフトウェアの対象とするカードについては「1.1　本ソフトウェアの対象とするカード」を参照のこと。</td></tr>
</table>

(2) 「住民基本台帳カードです。このカードは顔写真なしのカードです。」

<table>
<tr><td colspan="2"> 
</td></tr>
<tr><td>メッセージ意味</td><td>券面事項情報が設定されているが、表面記載が顔写真なし（写真無しカード）の住基カードである。</td></tr>
<tr><td>対応方法</td><td>顔写真のない住基カード（写真無しカード）は本ソフトでの券面事項情報の表示はできない。本ソフトウェアの対象とするカードについては「1.1　本ソフトウェアの対象とするカード」を参照のこと。</td></tr>
</table>

(3) 「有効期限または生年月日が入力されていません。」

メッセージ意味	「住民基本台帳カード照合番号入力」画面で、有効期限または生年月日に入力漏れがある。
対応方法	入力漏れ事項を入力する。

(4) 「入力された有効期限または生年月日が間違っています。正しい内容を入力してください。」

メッセージ意味	「住民基本台帳カード照合番号入力」画面で入力した有効期限または生年月日が間違っている。
対応方法	正しい有効期限と生年月日を再入力する。
注意事項	有効期限または生年月日を続けて 10 回間違えた場合、住基カードはロックされるので注意すること。

(5) 「暗証番号 1 または暗証番号 2 が入力されていません。」

メッセージ意味	「IC カード化運転免許証暗証番号入力」画面で「確定」ボタン押下時に、暗証番号 1 または暗証番号 2 が入力されていない。
対応方法	暗証番号 1 または暗証番号 2 を入力する。

(6) 「入力された暗証番号１または暗証番号２が間違っています。正しい内容を入力してください。」

メッセージ意味	「IC カード化運転免許証暗証番号入力」画面で「確定」ボタン押下後、暗証番号 1 または暗証番号 2 が間違っている。
対応方法	正しい暗証番号 1 または暗証番号 2 を再入力する。
注意事項	暗証番号 1 または暗証番号 2 を続けて 3 回間違えた場合、カードはロックされるので注意すること。

(7) 「もう一度暗証番号を間違えるとカードがロックします。正しく内容を入力してください。」

メッセージ意味	「IC カード化運転免許証暗証番号入力」画面で入力した暗証番号 1 または暗証番号 2 を続けて 2 回間違っている。
対応方法	あと一回間違えると IC カード化運転免許証がロックするので、暗証番号 1 または暗証番号 2 を再度確認し、再入力する。
注意事項	暗証番号 1 または暗証番号 2 を続けて 3 回間違えた場合、カードはロックされるので注意すること。

(8) 「このカードはロックされました。使用することができません。」

メッセージ意味	このメッセージは以下の場合に発生する。 ・ 「住民基本台帳カード照合番号入力」画面で入力した有効期限または生年月日を続けて 10 回間違えた場合。 ・ 「IC カード化運転免許証暗証番号入力」画面で入力した暗証番号 1 または暗証番号 2 を続けて 3 回間違えた場合。
対応方法	この住基カードまたは IC カード化運転免許証は券面事項の確認には使用できないので、以下の対応を行う必要がある。 ・ 住基カードの場合、住所地市町村で照合番号のロック解除を行うこと。 ・ IC カード化運転免許証の場合、運転免許試験場または警察署の免許窓口にて復旧すること。

(9) 「このカードはロックされています。使用することができません。」

メッセージ意味	このメッセージは以下の場合に発生する。 ・ 「住民基本台帳カード照合番号入力」画面で入力した有効期限または生年月日を続けて 10 回間違えて既にロックされていた場合。 ・ 「IC カード化運転免許証暗証番号入力」画面で入力した暗証番号 1 または暗証番号 2 を続けて 3 回間違えて既にロックされていた場合。
対応方法	この住基カードまたは IC カード化運転免許証は券面事項の確認には使用できないので、以下の対応を行う必要がある。 ・ 住基カードの場合、住所地市町村で照合番号のロック解除を行うこと。 ・ IC カード化運転免許証の場合、運転免許試験場または警察署の免許窓口にて復旧すること。

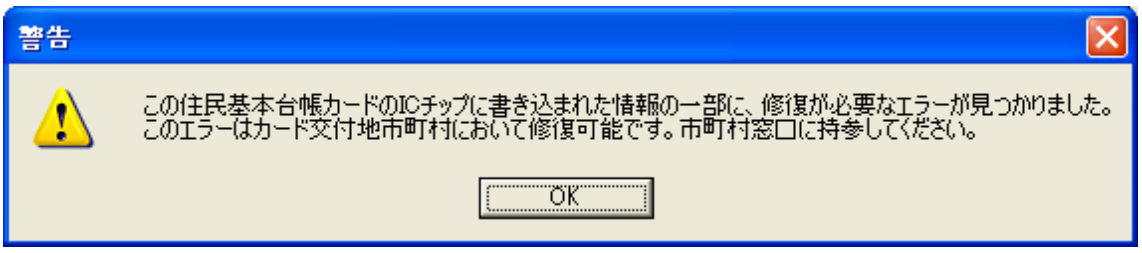
（10）「カードがスロットに挿入されています。カードを置いて実行してください。」

メッセージ意味	SCR331DI-NTTcom リーダ／ライタの場合に、読み取り可能なカードが IC カードリーダ／ライタのスロットに挿入されている。
対応方法	スロットから取り出し、IC カードリーダ／ライタの読み取り部に置く。

（11）「住民基本台帳カードまたは運転免許証ではないか、壊れている可能性があります。」

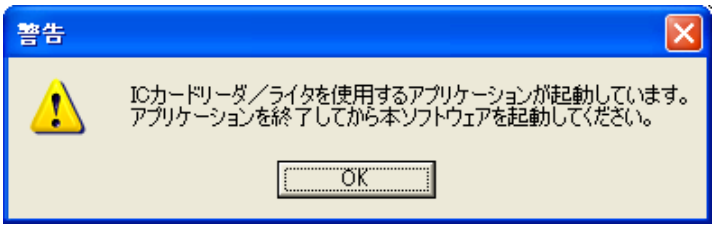
メッセージ意味	次のいずれかの場合に発生する。 ・ IC カードリーダ／ライタに住基カードまたは IC カード化運転免許証が置かれていない場合。 ・ 住基カードまたは IC カード化運転免許証ではないカードが置かれている場合。
対応方法	本ソフトウェアの対象とするカードであるかを確認する。カードを正しい位置に置いた場合でも発生する場合、以下の交付機関に問い合わせること。 ・ 住基カードの場合、住所地市町村。 ・ IC カード化運転免許証の場合、運転免許試験場または警察署。

（12）「この住民基本台帳カードの IC チップに書き込まれた情報の一部に、修復が必要なエラーが見つかりました。このエラーはカード交付地市町村において修復可能です。市町村窓口に持参してください。」



メッセージ意味	住基カードの IC チップに書き込まれた情報の一部に、修復が必要なエラーが見つかった。
対応方法	「OK」ボタンを押下し、処理を続行する。（このカードはカード券面による本人確認に使用可能である。） なお、該当エラーは住所地市町村の窓口で修復処理が可能であるので、カード所持者は住所地市町村の窓口に連絡すること。

（13）「IC カードリーダ／ライタを使用するアプリケーションが起動しています。アプリケーションを終了してから本ソフトウェアを起動してください。」

<table>
<tr><td colspan="2"> 
</td></tr>
<tr><td>メッセージ意味</td><td>本ソフトウェアの起動時に、IC カードリーダ／ライタを使用する他のアプリケーション（本ソフトウェアの個人番号カード向け画面等）が既に起動していた。</td></tr>
<tr><td>対応方法</td><td>IC カードリーダ／ライタを使用する他のアプリケーション（本ソフトウェアの個人番号カード向け画面等）を終了したあと、再度本ソフトウェアを起動する。</td></tr>
</table>

（14）「この端末には、IC カードリーダ／ライタが接続されていないため、本ツールを使用することができません。」

<table>
<tr><td colspan="2">
</td></tr>
<tr><td>メッセージ意味</td><td>使用可能な IC カードリーダ／ライタが接続されていないため、本ソフトウェアを使用できない。</td></tr>
<tr><td>対応方法</td><td>本ソフトウェアを終了した後、IC カードリーダ／ライタの設定を正しく行い、再度処理を行う。</td></tr>
</table>

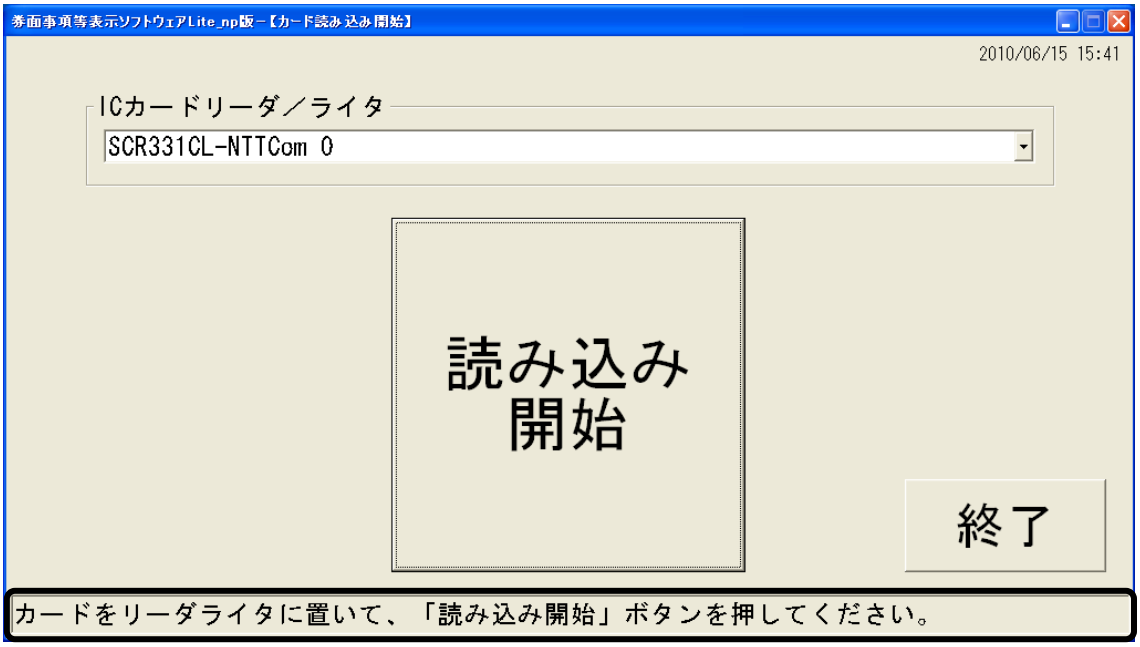
（15）「プログラム上でエラーが発生しました。」

<table>
<tr><td colspan="2">
</td></tr>
<tr><td>メッセージ意味</td><td>本ソフトウェアで何らかの異常が発生した。</td></tr>
<tr><td>対応方法</td><td>IC カードリーダ／ライタの上に、読み込み対象とするカードが正しく置かれていることを確認し再度操作を行う。それでも問題が解決できない場合は、本ソフトウェアの再起動または本ソフトウェアおよび IC カードリーダライタのドライバの再インストールを行う。</td></tr>
</table>

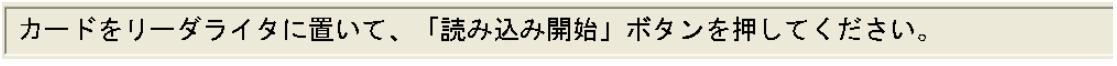
（16）「住民基本台帳カードが壊れているか、カードの内部状態が正常ではありません。」

メッセージ意味	住基カードが壊れているか、カードの内部状態が正常ではないので、券面事項を表示できない。
対応方法	この住基カードは、券面事項の確認には使用できないのでカード所持者は住所地市町村の窓口に連絡する。

※以下に続く（17）～（21）のメッセージは、各画面下部のガイダンス欄（太枠線内）に出力されます。



（17）「カードをリーダライタに置いて、「読み込み開始」ボタンを押してください。」



メッセージ意味	券面事項を表示する準備ができた。
対応方法	カードを IC カードリーダ／ライタの読み取り部に置いて、「読み込み開始」ボタンを押下する。

（18）「カードを読み込んでいます。」

カードを読み込んでいます。	
メッセージ意味	「カード読み込み開始」画面で、カードを置いて「読み込み開始」ボタンを押下した後、カードを読み込んでいる最中である。
対応方法	次の画面が表示されるのを待つ。

（19）「有効期限および生年月日を入力し、種別を選択して「確定」ボタンを押してください。」

有効期限および生年月日を入力し、種別を選択して「確定」ボタンを押してください。	
メッセージ意味	「住民基本台帳カード照合番号入力」画面で、有効期限と生年月日を入力可能であり、表示種別を選択可能である。
対応方法	有効期限と生年月日を入力し、表示種別を選択して「確定」ボタンを押下する。

（20）「暗証番号を入力し、「確定」ボタンを押下してください。」

暗証番号を入力し、「確定」ボタンを押してください。	
メッセージ意味	「IC カード化運転免許証暗証番号入力」画面で、暗証番号を入力可能である。
対応方法	暗証番号を入力し、「確定」ボタンを押下する。

（21）「カード券面の記載事項が正しいことを確認し、「戻る」ボタンを押してください。」

カード券面の記載事項が正しいことを確認し、「戻る」ボタンを押してください。	
メッセージ意味	住基カードまたは IC カード化運転免許証の券面事項情報が正常に表示され、カード券面と比較できる状態となった。
対応方法	カード券面の記載事項と画面に表示された券面事項を比較する。